

**中学校部活動地域展開に係るアンケート
調査結果**

紀の川市教育委員会

アンケートの目的

紀の川市として、中学校部活動の地域連携・地域展開を進める上で実態を把握し、今後の中学校部活動の地域連携・地域展開のあり方について考えていくためにアンケートを実施する。

アンケートの対象

市内小学生（小学4年生～小学6年生）
市内中学生（中学1年生）
保護者（小学4年生～中学1年生）
小学校教職員
中学校教職員
関係団体

アンケートの時期

令和7年8月25日（月）から令和7年9月22日（月）

アンケートの方法

Web アンケート（Microsoft Forms）

アンケート回収数・回答率

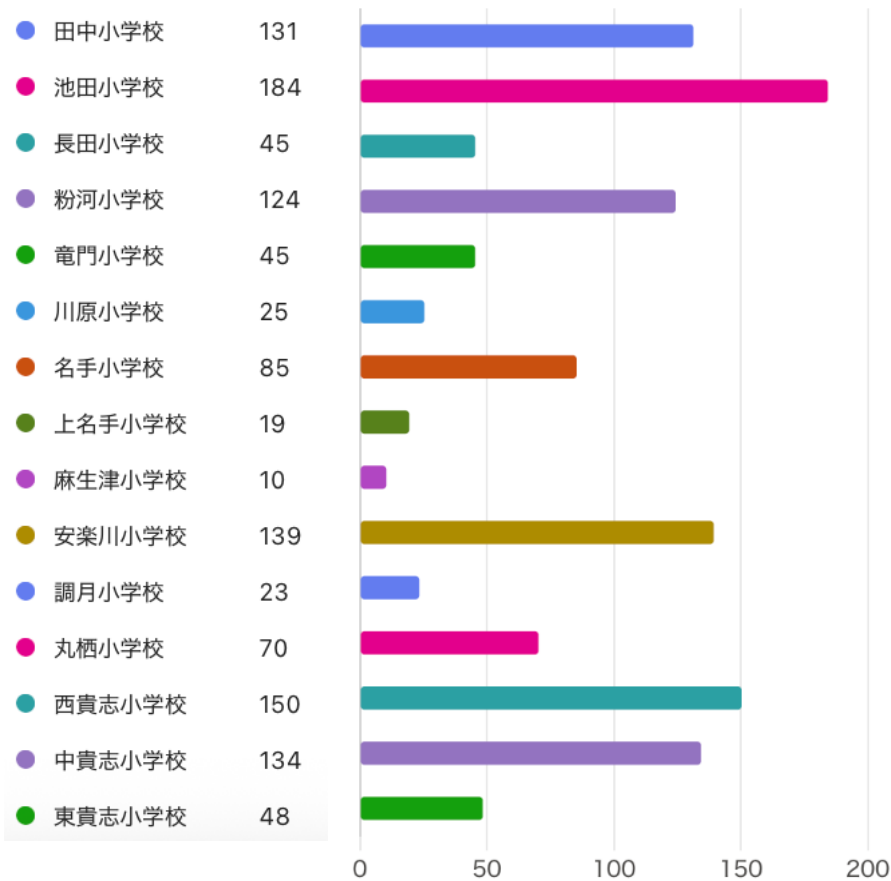
小学生：1232名・91.6%
中学生：417名・95.6%
保護者：743名・41.7%
小学校教職員：105名・36.6%
中学校教職員：89名・66.9%
関係団体：115名

アンケート調査結果

P. 3 小学生
P. 7 中学生
P. 9 小学生保護者
P. 28 中学生保護者
P. 38 小学校教職員
P. 44 中学校教職員
P. 52 関係団体

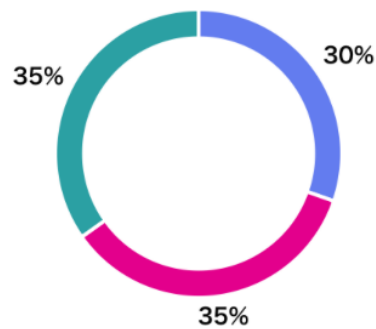
小学生アンケート調査結果

1. 学校



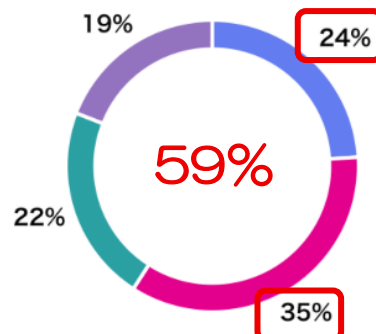
2. 学年

4年生	374
5年生	429
6年生	429



3. 休日地域クラブ活動への参加

希望する	296
どちらかといえば希望する	432
どちらかといえば希望しない	269
希望しない	235



4. 休日地域クラブ活動希望種目（複数回答）

● 陸上競技	71	● 吹奏楽	46
● 軟式野球	66	● 美術	83
● ソフトボール	16	● 技術	21
● バレーボール	101	● 数学	18
● バスケットボール	90	● 家庭（生け花家庭）	35
● ソフトテニス	78	● 英語	17
● 卓球	78	● 科学（園芸科学）	38
● バドミントン	102	● 茶道	42
● 柔道	8	● 音楽	25
● 剣道	33	● 社会	13
● 空手道	24	● 放送	17
● 少林寺拳法	9	● 書道	23
● サッカー	79	● その他	48
● ハンドボール	74		

〈その他〉

e スポーツ、クイズ研究、ゲーム、水泳、スイミング、演劇、ダンス、テニス、ドッチボール、ゴルフ、バトントワリング、モルック、ラグビー、帰宅部、調理、硬式野球、イラスト

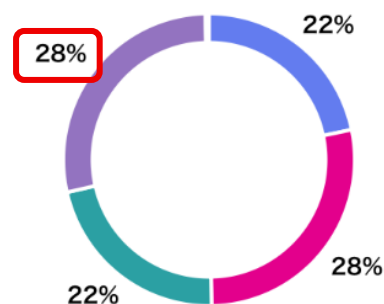
※1つの種目を選択した児童…475名／1232名（38.5%）

複数の種目を選択した児童…626名／1232名（50.8%）

休日はマルチ希望

5. 休日地域クラブ活動に求めるもの

● 競技力向上（各種大会等への出場）	158
● 体力向上（生涯スポーツの視点から）	204
● 趣味・娯楽（生涯スポーツ・生涯学習の視点から）	158
● 仲間づくり	205
● その他	3



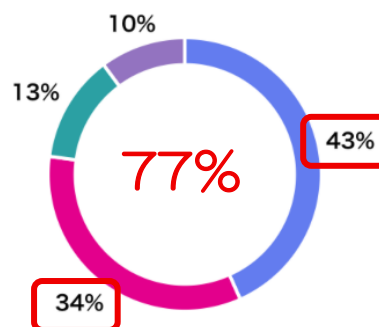
〈その他〉

楽しみ、野球、力をつけたい

※競技力向上に限らず、児童は多様な価値観がある。

6. 平日部活動への参加

● 希望する	534
● どちらかといえば希望する	416
● どちらかといえば希望しない	157
● 希望しない	125



7. 平日部活動希望種目（複数回答）

● 陸上競技	88	● 吹奏楽	63
● 軟式野球	80	● 美術	131
● ソフトボール	30	● 技術	30
● バレーボール	126	● 数学	23
● バスケットボール	101	● 家庭（生け花家庭）	54
● ソフトテニス	104	● 英語	18
● 卓球	108	● 科学（園芸科学）	43
● バドミントン	129	● 茶道	56
● 柔道	17	● 音楽	30
● 剣道	38	● 社会	13
● 少林寺拳法	15	● 放送	22
● サッカー	97	● 書道	21
● ハンドボール	72	● その他	59

〈その他〉

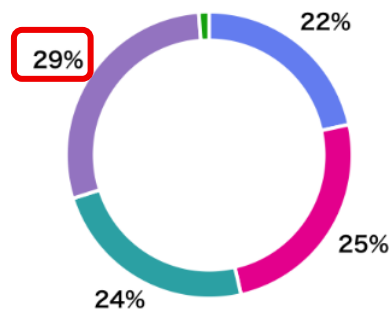
eスポーツ、クイズ研究、ゲーム、水泳、スイミング、演劇、ダンス、テニス、ドッチボール、ゴルフ、バトントワリング、モルック、ラグビー、帰宅部、硬式野球、邦楽部、図書部、歴史部、体操、フェンシング

※ 1つの種目を選択した児童…644名 / 1232名 (52.3%)

複数の種目を選択した児童…306名 / 1232名 (24.8%)

8. 平日部活動に求めるもの

● 競技力向上（各種大会等への出場）	205
● 体力向上（生涯スポーツの視点から）	236
● 趣味・娯楽（生涯スポーツ・生涯学習の視点から）	225
● 仲間づくり	273
● その他	11



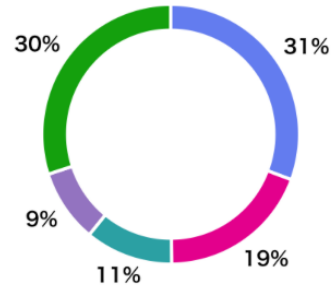
〈その他〉

社会に向けて、夢と友達づくり、学力、仲間づくりと趣味を深める、勉強、勉強との両立、技術の向上、力をつけたい、野球、友達

中学生アンケート調査結果

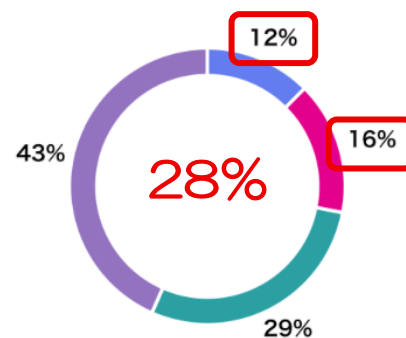
1. 学校

● 打田中学校	128
● 粉河中学校	80
● 那賀中学校	46
● 荒川中学校	38
● 貴志川中学校	125



2. 休日地域クラブ活動への参加

● 希望する	52
● どちらかといえば希望する	65
● どちらかといえば希望しない	119
● 希望しない	181



3. 休日地域クラブ活動希望種目（複数回答）

● 陸上競技	15	● 吹奏楽	6
● 軟式野球	11	● 美術	9
● ソフトボール	2	● 技術	1
● バレーボール	17	● 数学	3
● バスケットボール	21	● 家庭（生け花家庭）	4
● ソフトテニス	23	● 英語	1
● 卓球	15	● 科学（園芸科学）	2
● バドミントン	9	● 茶道	4
● 柔道	7	● 音楽	2
● 剣道	4	● 社会	0
● 空手道	1	● 放送	3
● 少林寺拳法	3	● 書道	0
● サッカー	6	● その他	2
● ハンドボール	9		

〈その他〉

ダンス、硬式野球

※ 1つの種目を選択した生徒…89名／417名（21.3%）

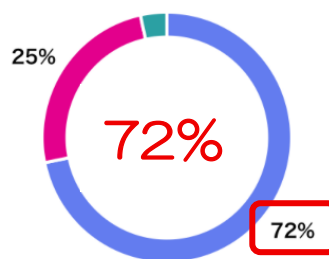
複数の種目を選択した生徒…24名／417名（5.8%）

4. 3で選択した種目は、平日部活動と同種目 or 異種目

● 同種目	84
● 異種目	29
● その他	4

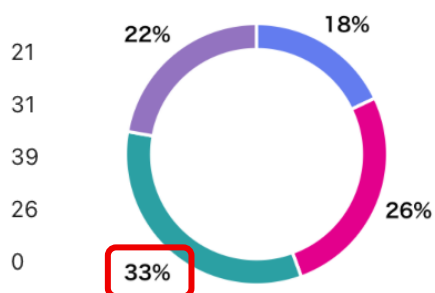
〈その他〉

同種目、異種目ともある



5. 休日地域クラブ活動に求めるもの

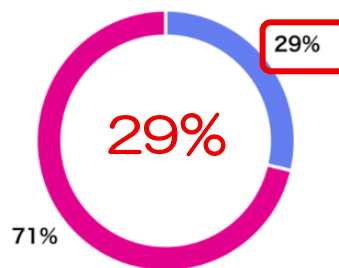
● 競技力向上（各種大会等への出場）	21
● 体力向上（生涯スポーツの視点から）	31
● 趣味・娯楽（生涯スポーツ・生涯学習の視点から）	39
● 仲間づくり	26
● その他	0



小学生保護者アンケート調査結果

1. 市内中学校における部活動指導員の活用について

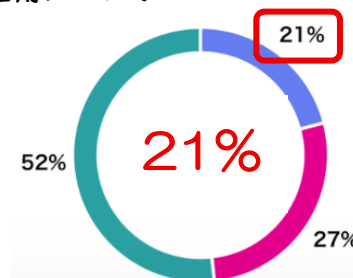
● 知っている	148
● 知らない	368



周知必要

2. 市内中学校における拠点校制度の活用について

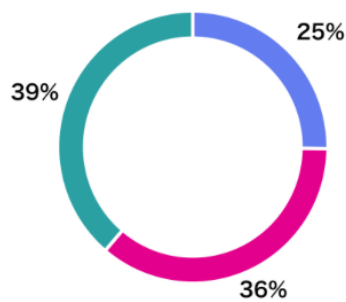
● 知っている	108
● 聞いたことはある	141
● 知らない	267



周知必要

3. お子さまの学年

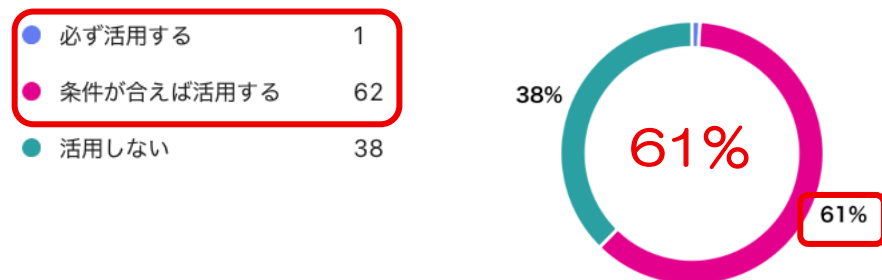
● 4年生	130
● 5年生	186
● 6年生	200



4. お子さまの学校



5. 拠点校制度の活用（那賀中学校・荒川中学校区の小学校の保護者対象）



6. 拠点校制度を活用する条件

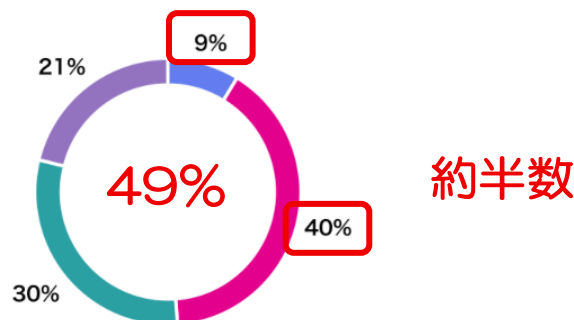
- ・平日の送迎をどうしたらいいのか。
- ・送迎がどうなのか。学校から送迎してくれるのか、もしも親が送迎するなら、通える距離かどうか、送迎時間が合うかどうか。
- ・通いやすいか。
- ・通学校にないクラブ活動ができる事。通学校では人数が少ない事。
- ・移動距離時間が合えば。
- ・場所への安全な移動。
- ・練習頻度、送迎可能どうか。
- ・まだ何がしたいか定まっていないか。

- ・本人、次第なのですが…。通う中学校にやりたいスポーツが無いなら。できるところで、習わせたいです。
- ・したい部活動が行く学校になれば、仕方がないので、やむを得ず。
- ・やりたいスポーツをやらせてあげたいから。
- ・送迎の有無等。
- ・本人の希望する部活か。
- ・いい指導者がいる事。
- ・子供がやりたいことがあり、送迎が不要。
- ・活動への参加しやすさ、保護者の負担の程度。
- ・本人の希望種目があれば。
- ・利便性。
- ・子供の望む部活動であり、登下校に無理の範囲であれば。
- ・安全な送迎
- ・①本人が部活をやりたいかどうか、②通えるかどうか、送り迎えできるか。部活で遅い時間までかかると帰りが心配。
- ・時間、場所、体育館でのスポーツならば夏場はクーラー使用しているのか、指導方法など。
- ・拠点校までの移動手段が整っているか。拠点校まで放課後に自転車で行かせるには遠すぎる。部活動後の帰宅も冬場暗くなれば心配。
- ・通学距離や合同で活動する中での友人関係など。
- ・やってみたいスポーツ活動部がないから。
- ・那賀中から粉河中に部活に入れる事、初めて知りました。
- ・本人に事情を説明し、本人がそれでもその部活動がしたいと言うのなら。
- ・分からない。
- ・子が望めば検討。
- ・連れていけるか、通えるか。
- ・送迎の問題。
- ・本人がどうしてもしたい部活。
- ・種目があえば、ぜひ利用したい。剣道も、拠点校制度を取り入れて欲しい。
- ・拠点校まで自分で自転車で行けるかななどが重要な問題になると思う。親の送迎が必要となる場合には、活用は難しいと思う。
- ・人数が多いこと
- ・特になのですが、子どもが希望するするスポーツが通学校にはなく、クラブチームではなく、部活を選択したいと言った場合、利用すると思います。
- ・特に条件はない
- ・子供が自分で移動できるかどうか（移動中に何かあった時に自分で対処できるか）
- ・場所時間、自転車通学ではないので送迎できるのか。
- ・部活動の時間です。
- ・子供が希望する部活動があった場合、拠点校に送り迎えをするのが困難でなければ活用できればいいかなと思う。
- ・安全に移動できるかどうか。

- ・その時に子供がその部活に入りたいかどうか。
- ・保護者の送迎等の負担がなければ。
- ・現在スポーツ少年団に加入、サッカーをしている。中学でもサッカーをする予定なのでサッカー一部に入りたいため。
- ・練習場所への移手段の確保
- ・制度を十分に理解していないため、活用できるか不明。選べる競技が少ないため、できることなら活用したいと考えている。
- ・送迎があるのか？
- ・往復の移動にかかる時間やその方法など負担がどの程度のものかによる。

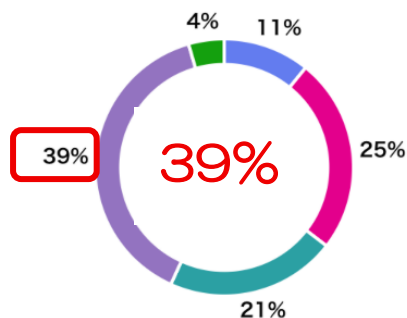
7. 全国的な中学校部活動の地域連携・地域展開の動きについて

よく知っている	45
少し知っている	207
あまり知らない	155
まったく知らない	109



8. 中学校部活動のあり方

平日も休日も学校部活動として取り組むべき	56
平日は学校部活動、休日は地域クラブ活動として取り組むべき	127
平日も休日も地域クラブ活動として取り組むべき	110
わからない・考えていない	200
その他	23



〈その他〉

- ・クラブ活動は試合以外は、休日は休ませてあげたい。
- ・できれば学校部活動の方がありがたいです。
- ・どうでもいい。
- ・どちらでもいい。
- ・どちらとも言えない。
- ・外部指導者を募り、平日も休日も部活動をする
- ・各中学校のある部活に十分な人数がいるうちは今まで通り活動できる学校があってもいいのではと思う。
- ・学校部活動として取り組むことが難しいのであれば、それ以外の方法で取り組むことに賛成。
- ・休日までクラブ活動する必要がないと思う。
- ・区別せずに平日、休日ともに地域と先生方が連携できるようになれば1番よい。
- ・現在子供が習っている競技は通う予定の中学校にありませんから、続ける為には地域クラブ活動か、学校部活を復活して頂く事になります。習っている競技を継続できるようにして頂きたい事を願います。

- ・個人の自由。
- ・今のままで良いと思う。
- ・子どもがやりたいクラブ活動をできる環境を作ってほしい。
- ・選択できれば良い
- ・大人の意見確認だけでなく、小学生、中学生、卒業した高校生や大学生など、部活動を身近に感じてきた世代に意見確認して、保護者の意見も確認してほしい。でないと、大人だけの偏った意見が通ってしまう。
- ・地域クラブ活動に悩む所あり。
- ・土日祝日は完全に休みにして欲しい。また、夏休みなどの部活動も減らして欲しい。
- ・部活自体必要ない。
- ・部活動としてとられず、それぞれがそれぞれのやりたい事を習い事としてやれば良い。
- ・部活動に取り組みたい生徒だけがすればいい。
- ・平日、休日とも学校部活動と地域活動のどちらを選択するかは教員人員や学生の人数により柔軟に対応するのが良いと思う。



9. 8の回答理由

〈平日、休日ともに学校部活動〉

- ・通い慣れた練習環境であるため
- ・部活動は、目指すものが無くなると平日に練習していても士気が下がると思います。目標を持つということは、簡単なようで中々ないのが現状です。その、ひとつの可能性をなくしてほしくありません。
- ・安心出来るから。
- ・部活動は確かに教員への負担はすごく大きいと思います。が子どもたちにとっては普段から一緒に過ごす友達仲間たちとの活動はやはりその時期にしか出来ないことだとも思います。地域クラブ活動に反対というわけではありませんが、それなりに金銭的負担が大きいのと、一番は送迎の問題です。学校での部活動であれば自身で自転車で通えますが、地域クラブとなれば親の送迎ありきの、スポーツもあります。平日休日関係なく働く方や、夫婦共働きも最近多いです。親の送迎困難な子どもは諦めなければならない状況になることもあると思います。中学生ともなるとなんとか自分で行く手段を考えるということも必要にはなってくるかもしれませんが、やはり夜間の長距離の移動などは何かしらのトラブルに巻き込まれないかなどの不安もあります。
- ・部活動と地域クラブでは違うし、地域クラブ活動なら習い事というイメージで月謝がかかる。
- ・地域のクラブチームだと活動拠点が遠くなるかもしれないから。
- ・指導者が変わるのはいいい(共有する場を持ち、指導理念を一貫する)と思うが、活動する子どもたちのチーム(メンバー)が変わると様々なデメリットが増えるのではないかと思う。
- ・クラブ活動で今しかできないたくさんの経験をしてほしい。
- ・地域クラブと学校クラブが離れると学校の先生たちにクラブの様子が伝わりにくく、子供の姿を知ってもらいにくくなるため。
- ・出来るだけ近場で部活動に取り組みたい。少人数のクラブは地域クラブ活動に取り組むのが良いと思います。

- ・地域クラブ活動に行かせたくても送迎などの関係で連れて行けない家庭は選択肢がなくなってしまうように思います。
- ・送り迎えが負担
- ・より多くの子どもたちがスポーツができる機会を増やすため。
- ・送迎が負担になるので、子ども自身が通える範囲で学校施設を練習場所として提供してほしい。
- ・子ども自身が通える範囲で、送迎の負担を最小限にしてもらいたいです。学校施設を練習場所として開放するなど。練習時間に間に合わせようとすると、遠方であれば送迎が必須になり、親の勤務調整などが必要になるため。
- ・かえる必要がないと思ったから
- ・学校を代表して大会に出ている姿を見るとうれしい。学校で学年を超えた関係性が築ける。
- ・遠くなると、送迎の負担がでてくるため。
- ・学校以外ですると送迎が難しい。
- ・なるべく在籍中学校で部活動はしてほしい。部活動をしているのに、休日は遊んでばかりじゃなくて半日でも学校で運動してほしい。
- ・練習場所までの、移動が心配だから。
- ・地域クラブ活動が自宅から安全で安心して送り出せる距離にある場所ならよいが違う町内や車が多く通る場所を子どもたちだけで自転車で行かせるのは心配だ。紀の川市は超高齢化社会になっており高齢者運転による通学路での事故が心配だ。
- ・練習試合、大会などは休日にしかしにくいから。
- ・学校でも地域でも良いが、中学生が毎日自分たちで行き来できる行動範囲で活動できるような仕組みが望ましい。遠方すぎて移動に負担がかかったり、活動時間が少なくなったりするとクラブ活動自体への参加が少なくなりそう。
- ・今まで通りで良い。
- ・平日と休日で活動が違っていると混乱する子供もいるかもしれないから。
- ・負担が少ないように思うので。
- ・少子化だからこそ学校で丁寧に1人1人指導していただけたら有難いです。
- ・送迎等なく、学校終わりに学校で部活動を実施できることで安心するから。
- ・学校生活の一環。
- ・月謝や送迎が問題な場合がある。学校の先生の負担ではなく、地域や外部の指導者等にクラブを任せる事ができればと思う。
- ・学校の先生という安心感がある。地域のチームを教えている方がどのような方かわからないし、何があるかわからない世の中で怖い。
- ・活動拠点となる学校が遠く、子ども自身でいけない可能性がある。学校部活動のほうが安心。
- ・学校内のクラブなのに、自転車で行けない所にわざわざ習いには通えないです。もし、そうなるのであれば、クラブバスなど考えないと無理です。
- ・地元ではないし、知り合いがいない為、地域でこういった活動ができるのか分かっていない。
- ・昔はそうだったから

〈平日は学校部活動、休日は地域クラブ活動〉

- ・平日は学校、休日は地域でとすることで、メリハリがつくのでは？
- ・平日は送迎等難しいこともあり、平日は学校で部活動を行ってもらえると安心です。しかし、活動時間が短く練習量が足りないとも聞くので、地域クラブでの練習も必要なのかなと思います。
- ・休日は送迎できても、平日は自分で通える場所でないといけないから。時間も遅くなると、塾等他の習い事との調整が難しいから。
- ・顧問の先生が経験者じゃない場合、休日に経験者の方に指導してもらわないとせっかくそのスポーツがやりたくて活動しているのに意味がないから。
- ・出来る事なら学校終わりにそのまま活動出来る学校部活動が一番理想ではあるけれど、先生たちの負担を減らす、少人数化などを踏まえると休日は地域活動でもいいと思う。子供たちがスポーツ出来る場所をなるべく多く残したい。
- ・平日は、部活時間が限られてくるのでその時間を移動に費やすのは勿体ないと思う。
- ・平日のクラブ活動は地域クラブでのスポーツをしなくても基礎となるストレッチや筋トレ、リズムトレーニングなどを中心に毎日 60~90 分くらいやったらいいのになと思います。地域の運動教室やスポーツジムのように日替わりでメニューを変えて、運動クラブに入っていない子も参加できたらいいと思います
- ・拠点校に通っている生徒ならいいがそうでない生徒は放課後の移動が大変そう。移動分の練習時間が減る。かと言ってチーム数が足りない、又学校にそのクラブがない場合、平日各自学校でとなると練習にも限りが出て支障が出るので、難しいところ。
- ・運動部は地域クラブも色々ありますが、美術部や吹奏楽、家庭部などの文化部はどうなるのでしょうか？学校終わりに貴志川だったら生涯学習センターなどで活動してくれるのならまだいいが、平日の夜や休日に親の送迎ありでしか通えないところで活動するのはちょっと違うと思う。気軽に出来るのが学校のクラブ活動のいい所で、美術部→絵画教室、家庭部→裁縫教室、料理教室みたいな、本格的なのは望んでいない。
- ・平日の活動場所への移動時間がかかることと、移動に伴う事故リスクの増加。
- ・平日休日の生活リズムを保ち負担が増えないようにするため。
- ・休日まで学校部活動として取り組むと先生方の休日がなくなるから。
- ・週末はきちんと先生に休みをとってほしいから。
- ・クラブ活動を学校生活に限定せず、地域と連携する事で多様な幅広い活動ができる。
- ・下校と移動の必要がないからよい。一旦下校すると、クラブ活動が億劫になってしまう事もあると言う。
- ・学校を越えて仲間ができることはよい。
- ・休日は先生も休むべきだと思うから。
- ・共働きのため平日に送り迎えは出来ない。学校行事やテスト期間とのバランスを無視されては困るので、学校にも絡んでいて欲しい。
- ・共働きの為平日の送り迎えは出来ない。学校の先生だけでは負担がかかり過ぎるのは理解が出来る。その為外部へ委託すれば専門的な指導もしてもらえて良いと思う。ただ、学校行事やテスト期間など、学業への配慮が無くなるのは困るため、学校にも絡んでいて欲しい。
- ・色々選択肢があって良い。学校の先生の負担軽減。
- ・先生方の負担。

- ・休日の先生の負担になるのであれば、地域クラブ活動は仕方ないことだと思う。平日も地域クラブ活動になると送迎など、問題が出てくるので、平日は学校部活動の方がよい。ただ、地域クラブ活動になると学校の部活動と同じスポーツができればよいが、違うスポーツになるのは困るし、大会など参加できるのかなど問題が出てきそう。
- ・教職員の先生方の負担の軽減が必要だと思うから。
- ・先生の勤務時間外の部活動になってしまうなら休日は地域クラブ活動にするのも仕方ないのかなと思います。
- ・学校帰りに移動することなく、校内で部活動が出来る方が、親としては安心できる。子供自身も移動の負担がないし、平日は極力それぞれの学校で部活動が出来る方がよいと思う。
- ・学校の部活動は、家庭でする習い事と違い、子供達の意味のもとで選択でき、容易に挑戦することが出来る点で、とても大事な学校活動の一部だと思う。地域単位の活動に移行した場合も、学校からの働きかけ（部活動の周知や入部手続きなど）を含めた上で、地域の部活動に気軽に参加できるような仕組みであってほしい。
- ・教員の負担軽減に賛成。生徒の移動距離も心配。
- ・学校で必ず部活動しなければいけないとは思わない外部もあるから。
- ・平日は学校帰りに行く時間が限られているので放課後すぐ取り組むことが出来る。在学中の学校での部活動が好ましいと思います。土日は送迎や開始時間に融通が利きやすく自転車などで子供が自力で行ける範囲の場所での部活動なら少数でも集まってチーム全体としての活躍が期待できると思います。
- ・それぞれの負担が分散されるように。地域クラブの方が平日取り組めるとは思えないし、学校部活動も休日に取り組めないはず。子どものためですが、指導できる大人も少ないことを忘れてはいけない。
- ・共働き家庭では、地域クラブの場合平日の送迎が困難。
- ・まずは、平日に地域クラブに行くのが時間的に難しいと思うし、送迎が必要な場合はムリだから。
- ・休日は学校とは無関係と考えるから。
- ・休みの日に部活をしてくれるのは有り難いが、先生の休みがあるのかなどが心配。
- ・学校のある日は学校で、休日はそれぞれにやりたい事があると思うのでクラブ活動したい子はすばらしい。
- ・平日放課後に学校以外の拠点まで移動する時間をもたないと感じるため平日は学校部活動として参加したい。土日は先生の負担が大きいのでクラブ活動のほうがよいと思う。
- ・休日の教員の負担軽減のため。
- ・先生の負担軽減。土日は別の指導員にしてもらうことで、意識向上やいい刺激を受けるのが期待できる。
- ・平日の送迎はなかなか厳しいので、学校でやってくれるとありがたい！帰宅してからも塾にいけたり時間の有効活用ができる。
- ・先生にもお休みが必要です。
- ・地域クラブ活動となると、自分で通える場所での活動ができなくなる場合がある。（紀の川市は広く、公共交通機関の便が悪いため）そうなると、保護者等が送迎しなければならない場合がある。保護者等が送迎できる環境にあれば、問題はないが、フルタイム共働き家庭にお

いては平日の送迎となると難しくなる。子供がスポーツに頑張っていて取り組んでいて、応援したくても、なかなか平日の送迎ができない家庭もあるため。

- ・地域のメリットは理解できるが地域だけだと我が子の場合は入部のハードルが上がり結局は帰宅部になりそうで不安です。
- ・できれば学校主体がいい。
- ・先生の負担軽減にもつながるし、地域での幅広い交流が期待できそうだから。でも全て地域クラブ活動になると、送迎など親の負担が増えそうな気がする。
- ・拠点となる地域生徒なら負担は少ないが、移動距離がある生徒には負担が大きいと考えられる。
- ・平日のコーチの時間がないため。
- ・メリハリ。
- ・学校の延長上にある活動であることに、意義があると考えます。終わりの会を終えて、同じ部活の友達と、声を掛け合って部室に向かい、部活をし、色々な話をすることで、学校生活がより充実すると思います。そこで教科の先生と、また違う関わり方が出来るのも、学校での部活動の良さだと思いますが、負担が大きいの確かです。そのため、地域で専門のスタッフの協力も得て、自分の足で通える範囲内の活動ができるのであれば、週の半分、休日などは地域へ委託でもいいのかなと思います。
- ・移動の安全面。
- ・平日は仕事のため送迎が難しい。
- ・もっと、スポーツしたいけど。時間に決まりがあり…。あまり出来ないと中学生が話しているのを聞いたから。
- ・専門家の指導が受けられること、違う地域の子たちと、交流の場を持って、また運動不足解消にも繋がるから。
- ・平日も地域クラブ活動にすると、移動などが大変ではないかと思ったから。
- ・質の高い練習をするため。
- ・中学の部活以外に小学校の頃から習っているスポーツの習い事も本人が続けたいと言っている。
- ・学校の先生の負担が大きいのでも子供達のスポーツする環境を残してほしい！それが大人になったとき大きな経験だと思う。
- ・指導者は統一した方が良いが、平日までは指導者の人材がより集まりにくい。部によって不公平にならない。
- ・先生の負担を減らし、子供にもより質の高い指導ができそうだから。
- ・平日の指導者となると、指導者の負担も大きくなると思うので。
- ・現実的に。
- ・平日の放課後に、遠くまで部活動に出かけることになったら心配。
- ・教職員の時間外勤務の削減、ライフワークバランスを考えると休日までお願いし難い。
- ・平日放課後に地域クラブ活動にすると移動や時間を取るのが難しくないのかと思ったから。
- ・平日は通える範囲での学校での部活動が望ましい。
- ・平日は学校のあと放課後での活動になるので学校内で活動できるといいのかなと思ったから。
- ・基本的に部活動は平日のみが理想。休日は余暇休息や部活動以外の活動に充てられる選択肢

もあって良いのでは無いかと思う。もちろんその選択肢の一つに部活動と同じスポーツがあっても良いという理由から休日は地域クラブとして取り組むべきと考えます。

- ・地域の部活動に参加すると、その場所までの距離等あり大変そうに感じるから。
- ・地域のクラブ活動をしていると、試合が重なる。
- ・練習拠点への移動の手段がない。送迎しないと通えない場合もある。
- ・小学生の今から、参加中のスポーツがあるから。
- ・平日、休日も部活動として取り組めることが保護者としては理想だが、そうすると学校の先生方の負担が大きく顧問を受けてくれる先生がいないのではないかと思うから。
- ・毎日地域クラブ活動になると移動時間がかかるので、平日は学校でできるなら学校で取り組むほうがいいと思う。人数などの理由で、学校でできないのであれば平日も休日も地域クラブ活動でいいと思います。
- ・平日も地域クラブ活動にすると、移動が大変な気がするので、「平日は学校部活動、休日は地域クラブ活動」を選択しましたが、でもそうすると各校の先生の負担はそんなに減りませんよね。何がベストなのかなあ…。
- ・団体競技を行うためには地域クラブへの参加は必然かと思うが平日だと練習場所への移動時間が増えることが関係者に負担になりそうだから。
- ・平日は授業終了後に校外の場所へ行ってクラブ活動を行うのは、難しいと思う。近場であれば子ども自身で行けるが、遠方になると送迎が必要になり、共働き家庭は送迎できないから。
- ・中学校でも、部活をしてほしいから。今も、地元が無いので、かつらぎのスポ少に所属している。
- ・学校の先生の負担が減るから。
- ・平日は活動場所への移動に課題がある。
- ・平日は地域クラブ拠点への移動が困難と思われるため、休日のみの活動が予想される。
- ・先生達の負担を考えると休日は部活指導員にお願いするのがいい。ただ平日もとなると見てくれる指導員がいてくれるのか不安なところ。
- ・移動等を考えて、**学校内で活動してもらったほうが安心**する。
- ・学校が終わってから場所を移動するのではなく学校という教育現場で継続して活動できればいいと思う。土日はその場所に限らずで構わない。
- ・教員の負担軽減。
- ・学校で活動するのも必要だと思うし、先生方にも休日がある方がいいと思うから。
- ・平日の地域クラブ活動だと子供の移動する負担が増えるし、帰宅が遅くなった時の安全確保が難しくなる。
- ・学校の先生の土日祝の負担も大きいと思うので、土日祝は、外部から指導者を入れたら負担も軽くなるのではないかと思う。
- ・休日の部活動の地域連携・地域移行の資料に記載してあるメリット及び、学校の先生方達の御負担が軽減されるならば、と感じたからです。
- ・休息や自由時間も必要なので、学校部活動は平日だけで、土日も部活動をしたい子だけ地域クラブ活動をすればいいと思う。
- ・現在、スポ少のスポーツに入ってるので、中学生になったらクラブチームに入る予定の為。
- ・平日は学校管理下で、安全な運営をして頂きたいと勝手ながら思います。休日は先生方の負

担減とともに地域に根差した運営を目指していくべきだと考えます。

- ・休日も先生方が指導するのは大変なので、自由参加型の方が良いと思いました。

〈平日、休日ともに地域クラブ活動〉

- ・教員の定時退勤、サービス残業撲滅、負担軽減のため。
- ・先生の負担を減らすことが出来、子どもたちも種目のエキスパートから教わることができると期待するから。
- ・教員の顧問負担軽減。
- ・学校でのルール内で地域クラブをすると弊害が生じる。学校、地域クラブで境目をはっきりさせないと、学校の個人情報管理が疎かになる。部外者が職員室にはいるなど。
- ・子どもが望む活動を、熱心に手助けしてくれる大人が多い方が良いから。教師が負担を感じながら、片手間に部活動支援をするならば、その分野に知識のある人に関わってもらう方が子どもたちのためだと思います。子どもたちの大切な中学時代は一瞬に過ぎてしまうので、環境が悪いためにやる気を損なってしまわないように、早急に議論して体制を整えて下さい。
- ・部活とクラブチームの両立が難しい為。
- ・取り組むべきとは思わないが、先生の負担が減るので、その方がいいと思う。
- ・課外のクラブに入っているから。基本や専門的なことの指導がうけられて子供たちにとってもいいと思う。
- ・先生の負担が大きいと思うから。教室内での問題も、昔に比べて多いと思うので。市立なので、市で地域クラブとして外部委託するのが理想的だと思ったから。
- ・学校部活の活動が少ないのと顧問の専門知識が低いように感じます。外部のコーチなど入れてくれるのであれば部活として取り組むのはいいと思いますが、そうでないのであれば地域のクラブでの活動のほうがいいように感じます。
- ・○教師の働き方が問題視されている。拘束時間が長すぎて、自身のゆとりの時間が取れず疲弊されている。勤務時間が長すぎるのが当たり前でないということ、なぜ守られないのかももっと疑問視されるべき。教師の成り手がなくなるのは、その部分が大いにあると思う。
○未経験の部活の顧問になった場合、子供達への指導が難しい。経験者が指導できる学校とそうでない学校で不公平感が出る。
○一方で、部活動に積極的に携わりたい教師もいるので、**副業可**にすることで外部指導員としても登録し、給料も別途支給する制度を設ければ、指導するモチベーションにもなり良いのではと思います。
- ・中学校の先生方の仕事量軽減のため。部活動をしたい先生方のためにも教員が地域クラブ指導員として活動できる制度を整えてほしい。
- ・有資格者、専門性のある指導者に指導してもらうほうが、技術面もモチベーションも上がると思う。指導される方は、指導者として公平で誠実に向き合う方、安心して子どもをあずける指導者であってほしいです。地域に任せるならそういう指導者を育ててもらいたいです。
- ・少子化になっていってる以上必要不可欠だと思います。平日、休日どちらも地域にする事で委託ができ先生の負担を減らせるのではないと思います。
- ・平日、休日で指導者が変わると**指導方法などの食い違い**が生じて子どもたちも戸惑いを感じると思うから。

- ・子どもや先生、指導者の負担軽減のため。
- ・質が高い指導が期待できる。
- ・指導者がしっかりしてそうだから。
- ・学校部活がいいけれど、先生達の働き方改革するのなら学校の部活は出来ないと思うし、平日は学校部活、休日は地域だと教えてくれる人が違うかったら教え方が違うので意味がないと思う。それだったら平日も休日も地域クラブの方がいいと思います。
- ・先生の負担が減る。子供達も専門の指導者に指導を受けることができる。
- ・学校の先生では指導が難しくなっているのではないのでしょうか。例えば野球経験が全くないのに野球部の顧問、指導など。学校の活動としてではなく地域のクラブ活動となったら専門の指導ができるのではないのでしょうか。また、大会の引率など休日の先生の負担も軽減できるかと思います。それから、経験のない先生の指導や采配は経験者の子どもにとってはもどかしいものがあるかと思います。このスポーツがやりたい！と部活動をしている子がほとんどだと思うので。私自身も中学時代、全く経験がない先生が顧問だったので試合でも勝てず、この学校と当たったらラッキーと言われくやしい思いをしました。子どもたちにはそのような経験をしてもらいたくないです。
- ・地域クラブ活動とした方が、部員の確保については、広域になり良いと思う。中学校でクラブ活動の維持が難しくなっている以上、これからますます進む少子化に併せて、活動を地域に移行する事が望ましいと思う。
- ・現状教員のボランティアで部活動は成り立っており、本来はクラブチーム等で行うべき。
- ・教員の負担軽減のため
- ・学校の先生方には、授業や子どもたちの成長に全力で取り組んでいただきたい。学校に無料でスポーツを教えてもらい、大会まで面倒を見てもらおうなんて、虫が良すぎると思います。
- ・必要と感じるから。
- ・クラブ活動は学校ではなく、民間で行った方が専門的にできると思うから。週に数回であっても専門的な指導を受けることが出来るから。
- ・教員の負担軽減

教員が長時間労働になりやすい「部活動指導」から解放されることで、本来の授業準備や生徒指導に集中できる。

働き方改革にもつながり、結果的に教育の質の向上が期待できる。
- ・専門的な指導の充実

地域クラブには、元アスリートや指導経験豊富な人が関わる可能性があり、生徒はより専門的で質の高い指導を受けられる。

教員がその競技経験者でない場合でも、安心して生徒に挑戦させられる。
- ・生涯スポーツや地域交流の促進

学校外での活動になることで、子どもたちが地域の大人や他校の生徒と交流する機会が増える。

スポーツや文化活動を「一部の学校行事」ではなく「地域社会の財産」として育てていける。
- ・多様な選択肢の確保

学校単位だと競技や文化活動の種類が限られるが、地域移行により複数の学校から生徒が集

まれは、活動種目の幅が広がる。

少人数で廃部になってしまうような部活動も、地域クラブなら継続できる可能性がある。

・持続可能性の向上

少子化で学校ごとの部活動維持が難しくなる中、地域単位で活動をまとめることで存続が可能になる。

将来的に「部活動がなくなる」よりも、形を変えて続ける道を開ける。

- ・先生の負担が減る。経験者が顧問になれない時に、指導者が必要。
- ・先生は授業と子供の勉学に注力を注いでもらいたいため。
- ・教員の労働過多を防ぐ為。
- ・専門的な指導者がいない。部活動自体が学校教育活動かどうか不明。
- ・教員の負担軽減の観点も鑑み、学校クラブ活動は廃止し、地域クラブ活動全面移行すべき。
- ・子どもの選択肢が増えるから。スポーツでは特に人数が揃わないと練習ができない状況もあるので。先生ではなく、専門の指導できる方から指導を受ける機会ができるのは有り難いと思う。
- ・専門の指導者に教わるほうが、子供や先生にも良いと思う。子供がクラブチームでサッカーしていますが、学校のクラブチームとは戦術なども全然ちがうし、同じ大会に出場もできないので…学校の部活動は先細りしていくと思います。部費などとして集金してもらい、ボランティアではなく、経験のある外部の指導者に支払えば良いと思います。特に専門外の教師が顧問の部活動は大変だと思っています。
- ・少子化で学校だけでは思う練習ができなかつたりする。
- ・現実問題、入部しても練習に来ない子がとても多く団体競技に関してはギリギリの人数しかいないのに練習に来ないとなると練習ができない。練習に来ないのに在籍している為人数は揃っているとゆう理由で他の学校と合同チームを組めない、となると頑張ってる子が報われないし大会に出ても試合にならない。地域移行した方が本当にそのクラブで頑張りたい子が入部するのでレベルも上がると思う。
- ・学校だけではない、地域の大人との取り組みや関わりがあると良いと思う。地域バスなどを活用し、校外で活動してほしい。
- ・学校の先生の負担を減らすべきだから。学校部活動で指導してもらいより、専門家に指導してもらった方がより良い経験になると思うから。
- ・我が子は習い事で空手をしているが、中学のクラブで空手があるところはほとんどない。学校部活動と聞くと、どのクラブでもよいから、強制的に入らないと行けない感じがする。
- ・指導者が経験者であることから、その部活動の専門的な指導を受けることができるから。
- ・現在、平日も休日も地域クラブに属しており、中学でも地域クラブに通う予定であるため。またクラブの選択肢が少ない。
- ・指導者のいいところや、自分に合ったレベルのチームに入れば良いと思う。中学校の先生も大変すぎる。
- ・教員の兼業は負担が大きいと考えるので。教員の方には学業面での役割に専従してもらいたい。
- ・授業と部活動など先生の負担が大きくなるのと、子供たちも専門の方に指導してもらった方

がいいと思うから。

- ・今ハンドボールをしていて、中学生になった時にハンドボールをしたくても、粉河中学校にハンドボール部はありません。その時に、平日休日共に地域クラブ活動をして貰えると助かります。
- ・教員がいない事で部活動が休みになる事があるが、地域クラブ活動の場合、そういった事も減り、練習時間も増え、能力の向上にもつながると思う。
- ・平日も地域クラブ活動があるから。
- ・部活動はやりたい人がやればよい。習い事を優先したい人もいる。
- ・学校教員の部活動指導には、個人の資質に大きな差があるため。
- ・学校の先生の負担を減らして欲しい
- ・学校の先生より専門のコーチに師事した方が、上手くなりそう。学校の先生の負担軽減。
- ・教員の負担軽減のため。
- ・部活によっては知識がないまま顧問を任されている先生もいます。経験者の方に教えて貰えるほうが先生も子供たちにとっても良いのではないかと思います。
- ・自分の学校だけでなく、近くの学校にやりたいクラブがあるならできるようにしてほしいです。平日、休日はそのクラブによって考えたらいいのではないかと思います。
- ・教員の負担減には賛成。ただし、部活内トラブルが学校生活に影響するのが怖いので、先生も把握できるようにすることが必要。教員の部活にかかる役員もどうにかしてあげてください。今、長男が粉中のサッカー部に所属しています。去年は、貴志川中までの送迎が休日に入り負担が大きかった。ただ、送迎をしてくれてた顧問の先生の負担が減り、思春期に長男との親と子のふれあい、集中してサッカーが出来良かったと思います。ただ、主人が単身赴任の上、子供3人育ててる為、家庭を回すのに精一杯です。土曜日に入る小学校の行きたい行事と中学のクラブを見たい気持ちのバランスが難しい。今現状では、行きたい方に行けず、気持ちを抑えるのに必死。また小学校の人数が少ないので小学校役員をする機会も多く、素直に甘えたいが、甘えられない。中学校の部活の地域移行も大切だと思うが、小学校との連携もしてください。
- ・いろんなところを通うより、一つの場所で続けてほしい。
- ・学校部活動だと、そのスポーツの専門の先生ではないことが多く、教えてもらえるなら専門の先生に学んだ方が伸びると思うから。
- ・教員の過度な負担を減らすため。
- ・学校にない部活も増えるのでいいと思います。
- ・教師の負担減と、専門家の指導者による指導を受ける事が可能。
- ・教職員の方の負担、少子化への対応。
- ・休日に取り組むのであれば、地域のクラブ活動として取り組むことが現実的であり、そうすれば平日も同じ指導者やチームで活動する方がいいと思うから。
- ・子供がそのスポーツをしたい場合もあるので。
- ・体を動かすことが好きな子供もいるから。
- ・教職員の負担が大きいため。
- ・多種多様な部活が出来るから。
- ・専門の人に継続して教えてもらえるから

- ・学校の先生が土日も部活となると、負担が大きいかな？と思いました。
- ・中学校の部活が強いなら中学校でしますが、弱いなら地域のクラブ活動へ行きたい。
- ・教員の業務量の削減の為。
- ・学校にないスポーツが多すぎる。子供の選択肢が少ない。
- ・学校の先生は、専門性を欠くイメージがある。
- ・部活動は先生の負担が大きいし、知らないスポーツなどの可能性もあるから。また、平日と土日で指導者が替わると、生徒も戸惑うと思う。
- ・学校だけで行うのが難しいのであれば、地域で行えば良いと思います。
- ・生徒数が減っている中で、団体競技だと人数が揃わない。教諭の負担が大きいと思う。
- ・負担もあるだろうし、してみないと分からないので。
- ・専門ではないことの指導、遠征や試合などの引率は教員の負担が大きすぎるから。
- ・中学校教員の負担軽減が必要だと思うから。
- ・少しでも上を目指せる部活動をさせてあげたい。
- ・指導内容が統一してる方がよさそうだから
- ・より専門的な指導を土日問わずに受けることができ、活動を通じてチームとの関わりや、積み重ねの練習の大切さを知ってほしいし、今後の成長の糧になればと思う。
- ・地域やスポーツ団体と連携することによって専門性のある指導者からの指導が受けれることが良いと思う。
- ・教員の負担軽減及び指導レベルの担保。
- ・部活動と地域クラブの2つに所属すると子供も混乱すると思うから（方針や指導方法など）

〈その他〉

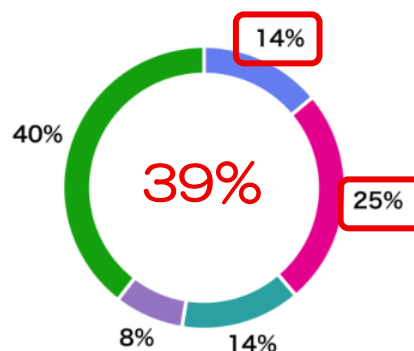
- ・休息時間が上手く作れるか不安に思う。
- ・地域クラブより部活の方が楽しくスポーツができるから 地域クラブは何かと揉め事が多い。他校だと塾との両立ができないから。
- ・学校で行うことと地域で行うことの目的や到達点の違いがあるかと思う。特に学校の部活動は学校の校風や連帯感など、学校のアピールにつながる部分もあるかと思う。今の時代は、どの場所でも子ども達が楽しみながら力を発揮できたらいいのかと思う。
- ・どちらでもいいが、子供がやりたいスポーツがクラブ活動にない、あるがレベルが低く、素人の先生が顧問となりクラブに入る意味がないので外部活動をしているなどよく目にするので、その辺も一緒に、考えて欲しい。上の子の代のほぼ全員が、平日、休日のクラブだけでも時間が足らず、週3回の社会人への参加、他の市町村への外部スクールに参加していました。やる気がある子もたくさんいるので、クラブ活動に参加するのであれば、出来るだけレベルアップ出来るように、どうしたらいいかを考えてもらえたらと思います。また、中学校には、どんなクラブがあるのか、早めに教えて欲しいです。せっかく小学生でスポ少などで習ったスポーツが中学校にないなどとなると、子供達が可哀想なので。
- ・費用がかかって選択を諦める子はいないのか。何かあった場合、学校としてどんな取り組みをしていくのか。
- ・地域連携と言っても、保護者の送迎が必要であったり今の形の部活動では教員の負担が大きい（教員自身が経験していない部活動を任せられたり、休日も行かないといけないなど）。し

かし部活は学校の教育の一環でもあると思うので学校単位で活動した方が規律が守られると思う。

- ・移動が面倒。
- ・先生方により良い環境で働いてもらいたいから。
- ・休日は休日なので。
- ・子供たちの活動をサポートできるように工夫していきたいが、親も送迎など限界がある。できる範囲でできるところでサポートしたい。
- ・校区内の中学校の部活になれば、続ける為には校区外の中学校に通うか、地域クラブになります。ただ地域クラブに子供が習っている競技があるのかどうか。なければどうなるのか。
- ・強制すると楽しくなくなる。
- ・どちらかに決めてしまうと先生または外部の人の負担になってしまいそうなので、各部活で先生と外部の人の曜日を分担し協力しながら行えばよいと思います。
- ・自分が中高とクラブ活動をしてきた経験から、大人になった今でも良かったと思えるので。
- ・家庭の事情などにより地域クラブ活動への参加が難しい場合があると思います。そういった家庭の事情の差が出ないようであれば地域クラブ活動として取り組むのも良いが、差が出るようであれば学校部活動も選択できるよう、選択肢として学校部活動は残してほしい。
- ・保護者は自分たちが行ってきた部活動しか知らず、子どもたちの目線でどうしていくべきか、という視点に気付けない可能性がある。部活動をしていく当事者や、卒業して間もない子たちに聞くことで新しい意見が聞かれ、実際に部活動の仕方が決まった時に、「自分たちが決めた」という達成感を持てるのではないかと思います。大人の意見で決まってしまうのは、子供達の活気にも影響するのではないかと思います。
- ・子供がやりたいと思うスポーツは応援したいので、させてあげたいです。でも拠点とする場所（練習する所等）が子供自身で行けない所となると困ります。送迎の関係で。また地域クラブ活動へ移行となると金銭面のことが心配。
- ・家族で旅行に行ったり、遊びに行けない。家族の時間を奪わないで欲しい
- ・昔に比べて夏は暑く冬は寒い、子供も減っている中で学校としての必須の部活は必要ないと思う。希望者のみで地域として取り組めばいい
- ・良くも悪くも制限がかかる。多様性を言うなら尚更部活動にこだわる事も無ければ、生涯学習と言う事も考えれば特に。
- ・皆が部活動をしたわけではないから。昔は強制だったので加入したが、本当はしたくなかった。
- ・一概に決めてしまわず、学校や地域によって臨機応変に対応してもらおう方が問題は解決しやすいと思うので。

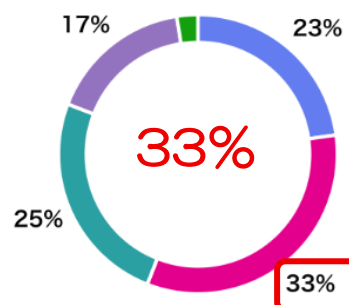
10. 休日地域クラブ活動への参加

● 希望する	72
● どちらかといえば希望する	128
● どちらかといえば希望しない	71
● 希望しない	41
● わからない	204



11. 「希望する」「どちらかといえば希望する」の理由

● 平日の部活動だけでは活動が足りない。	75
● 競技の専門的な指導を受けることができる。	109
● 学校の枠にとられない人間関係をつくることができる。	82
● 中学校部活動に設置されていない種目を選ぶことができる。	55
● その他	8



〈その他〉

- ・運動部は休日に試合など実施しやすい。文化部は平日の時間で出来ない活動（長時間）ができると思うから。
- ・公式試合に出られる。
- ・今現在取り組んでいるスポーツが地元の中学校にそのスポーツの部活がないため。
- ・入るクラブにもよる。文化部なら平日だけで充分だが、運動部なら平日だけだと練習量が足りないのと試合などがあるので休日も活動したい。
- ・本人にやる気があれば参加したらよい。

Ⅰ 2. 休日地域クラブ活動希望種目（複数回答）

● 陸上競技	26	● 吹奏楽	18
● 軟式野球	21	● 美術	16
● ソフトボール	2	● 技術	3
● バレーボール	32	● 数学	2
● バスケットボール	29	● 家庭（生け花家庭）	6
● ソフトテニス	17	● 英語	11
● 卓球	11	● 科学（園芸科学）	5
● バドミントン	29	● 茶道	5
● 柔道	2	● 音楽	13
● 剣道	13	● 社会	2
● 空手道	8	● 放送	3
● 少林寺拳法	6	● 書道	4
● サッカー	20	● その他	36
● ハンドボール	29		

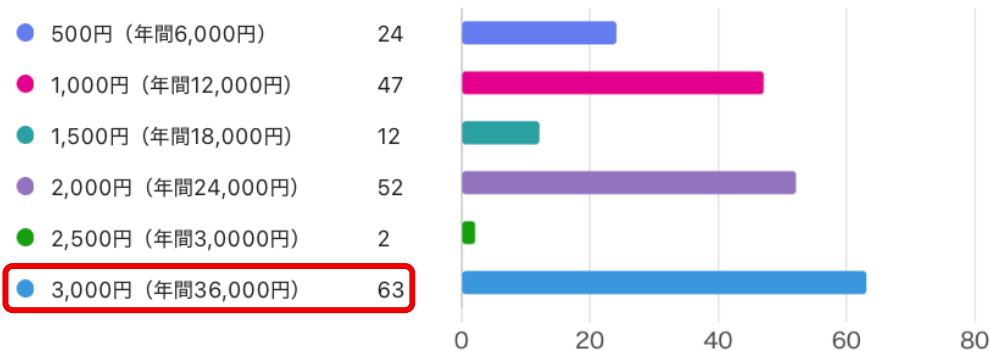
〈その他〉

硬式野球、特定の種目はない、ラグビー、ダンス、バレエ、器械体操、バトントワリング、スイミング、水泳、合気道、子供がしたいこと

※ 1つの種目を選択した保護者…123名／516名（23.8%）

複数の種目を選択した保護者… 66名／516名（12.8%）

Ⅰ 3. 休日地域クラブ活動毎月負担可能額



14. 「希望しない」「どちらかといえば希望しない」の理由

● 休日は他のことに時間を使う予定がある	52
● 平日の部活動で十分	49
● 練習試合や大会等への送迎が負担である	44
● 月謝等の活動費が負担である	26
● 活動場所までの移動が心配である	32
● 他校の生徒との人間関係が心配である	7
● その他	14

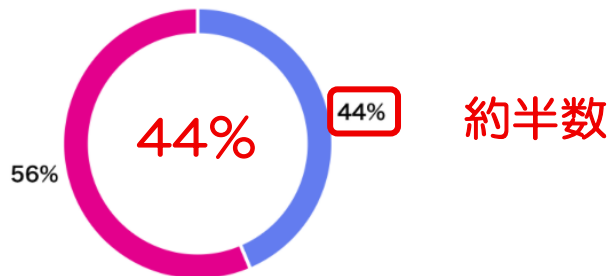
〈その他〉

- ・そもそも本人は運動する事があまり好きではない。
- ・わざわざしなくていいならしない。
- ・場所が遠くなると仕事で送り迎えができない。
- ・先生によつての教え方の違いが心配。
- ・家庭の協力なくして成立しない部活動だと負担である。
- ・するのであれば中学生になつてもスポーツ少年団の活動を継続すれば良いのでは？
- ・本人が望めば別だが、親が積極的にスポーツをさせたいと思つていないため全く関心がない。
- ・部活動をしたくないようなので。
- ・指導者が誰になるのかわからないから。
- ・教える人などがどんな人かわからないので。
- ・すでに、スポーツ少年団に入つてる。
- ・クラブ活動とは違うスポーツ活動を行う予定。
- ・学校部活動も存続するのであれば、休日の地域クラブ活動は不要。

中学生保護者アンケート調査結果

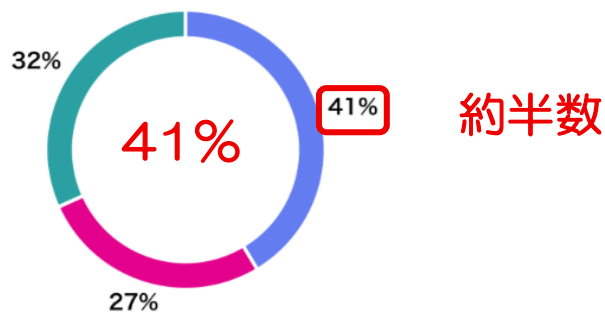
1. 市内中学校における部活動指導員の活用について

● 知っている	99
● 知らない	128



2. 市内中学校における拠点校制度の活用について

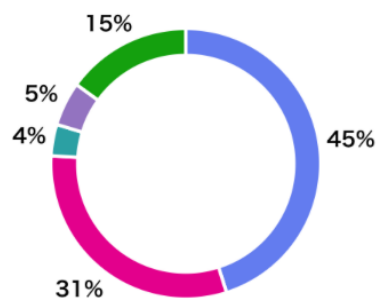
● 知っている	94
● 聞いたことはある	61
● 知らない	72



3. お子さまの学年（中学1年保護者のみ回答）

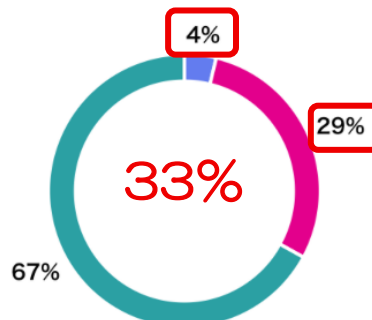
4. 学校

● 打田中学校	60
● 粉河中学校	41
● 那賀中学校	5
● 荒川中学校	7
● 貴志川中学校	20



5. 拠点校制度の活用

● 必ず活用する	4
● 条件が合えば活用する	31
● 活用しない	71

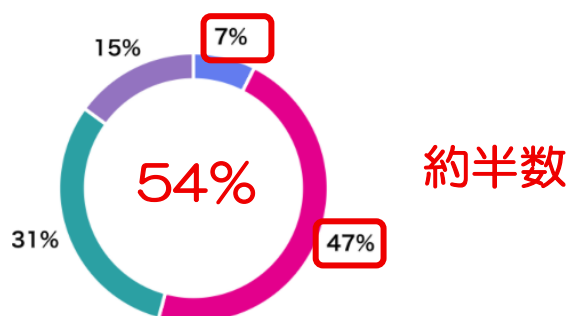


6. 拠点校制度を活用する条件

- ・練習場所、十分な練習時間の確保。放課後練習の移動方法。本人の意思。
- ・日頃の練習の送迎等スムーズに行えるか。
- ・送迎、活動時間など。
- ・通えるか。
- ・子供のやりたいクラブがあること。送迎してもらえること。
- ・小学生から続けてきているスポーツなので、他校でも出来るのであれば入部させたい。
- ・バスなどで送迎してくれるかどうか。
- ・自力で通えるかどうか。送迎があるか。活動時間が確保されるのか。土日の練習についても、送迎があるか。
- ・生徒だけで通える場所。
- ・本人のやる気次第。
- ・いい指導者がいる事。
- ・近くでの指導を受けた方が生徒の負担が少ない。
- ・やりたいことをやらせてあげたい。
- ・子どもの送迎が紀の川市がやってくれること。
- ・移動手段。

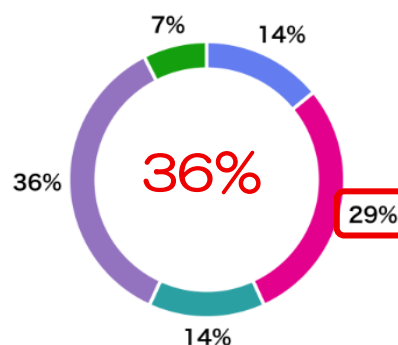
7. 全国的な中学校部活動の地域連携・地域展開の動きについて

よく知っている	17
少し知っている	106
あまり知らない	70
まったく知らない	34



8. 中学校部活動のあり方

平日も休日も学校部活動として取り組むべき	32
平日は学校部活動、休日は地域クラブ活動として取り組むべき	66
平日も休日も地域クラブ活動として取り組むべき	31
わからない・考えていない	81
その他	17



〈その他〉

- ・そのクラブごとに、学校、地域のどちらで主に活動するかなど、対応は変わると思う。
- ・学校活動か地域活動か出来る方で。
- ・学校部活動希望。
- ・完全にどちらかではなく、部活動に外部コーチが入るなどの形が望ましい。
- ・子供本人が部活を望むならやらせてあげたいが学校活動、地域活動どちらでもいい！部活を

教えて頂ける方がいるならとてもありがたいので活動の形はどちらでもいい。

- ・取り組むべきとは考えない。
- ・詳しく説明がないのでどちらともいえない。
- ・詳細がわからないのでなんとも言えない。
- ・親の負担にならなければどちらでもいい。
- ・先生の負担軽減もあると思いますが、外部コーチ（クラブ活動）をうまく活用し子どもたちに負担なくのびのび練習できる環境がベスト。
- ・地域の指導者に学校へ介入してもらう。
- ・内容、違いによる。
- ・部活動に対して経験の無い先生が顧問になるのは生徒も先生も負担になると思うので地域クラブ活動があるのは良い事だと思うのですが部活動で経験のある先生がいてるのであればその部活動は学校部活動として取り組んで行って欲しいです。
- ・部活動の種別に応じて検討し取り組むべき。
- ・平日、休日とくくらず、学校部活と地域クラブを組み合わせばいいと思います。
- ・平日のみ学校部活動。
- ・無理のない範囲でしてほしい。



9. 8の回答理由

〈平日、休日ともに学校部活動〉

- ・部活動含め中学時代の良い思い出であったから。働き方改革は大人の都合であり子供の教育、成長、を妨げない改革をすべきであると考えから。
- ・学校のクラブ活動。
- ・平日に地域クラブになってしまうと、学校から離れた場所になってしまうたり不便な事もあるため。
- ・今まで通り学校活動の一環として学校内で完結してほしいから。
- ・地域クラブ活動には月謝がかかる。
- ・1つの部活で多くの時間を過ごすことが人間関係を育むと思うから。
- ・必ず休日も学校活動とは思っていないが、土日の練習試合は学校活動のほうがいいのかなど思い、選びました。
- ・学校の活動であれば、安心できる
- ・指導者が変わると指導の統一感がない。
- ・練習試合などは休日でないと行えないため。
- ・学校で活動できないと、家庭での送迎や保護者の負担なしでは地域の活動は成り立たない。家の事情でやりたい部活ができなくなっている。
- ・地域クラブが近くにある場合はいいが、自己にて自転車で行けない距離となると送迎が必要になる。仕事がある場合は送ることができないため。
- ・放課後、運動して欲しい。遊びに行く、ゲームになる。友達と仲間の時間を共にして欲しい。
- ・休日は練習ではなく試合やコンクールのみ。
- ・外部には参加させれないから。
- ・近場で部活動に取り組みたい。少人数のクラブは地域クラブ活動に取り組むべきです

- ・地域クラブ活動は持続できるのか？最初からクラブに入部しない子が出てくるのではないかと思います。
- ・中学校進学する時にスポーツを外部活動か学校部活動で悩んだ結果、学校部活動を選択したから。
- ・地域クラブ活動は、送迎や参加費など親の負担が増えるから。
- ・指導者は、委託するにしても、学校単位としての団結力はやはり子どもたちの絆にも繋がると考える。保護者の協力も得やすいのではないか。
- ・平日、休日と、指導者や生徒が違うと混乱すると思う。何を目標に何のために部活をするのか？よくわからなくなるのでは？と感じる。
- ・地域クラブは親の負担が大きい。
- ・子供のやる気を尊重してほしいから。
- ・子ども本人が入学する前に外部ですか学校ですかで悩んだ為。
- ・通う事も難しいし、月謝も払えないので。
- ・学校部活動だから学校部活動として学校に外部指導員を迎え入れる事には賛成です。その為の費用の一部を親が負担する事も子育てする以上は親としての責任でもあると思います。
- ・運動をして欲しいから。
- ・休日に外部指導員が入ると、指導の方向性が変わるから

〈平日は学校部活動、休日は地域クラブ活動〉

- ・教師負担の削減。
- ・移動時間、体力考えると学校終わりは学校部活動の方が効率がいい気がする。
- ・移動するのが遠いと親の送迎が必要になる為。
- ・日頃お世話になっている学校の先生に指導してもらえるとと言う安心感があります。でも、先生の負担を考えると休日は外部の方で十分かと思います。しかし、外部の方をお願いするからには安心して任せられる人材の方がいいので、ある程度選考した人材でお願いしたいです。
- ・学校だけでなく地域クラブ活動も入れればいろんな人達と交流し、いろんな技術を学べるから。
- ・休みの日も部活動してくれるのは有り難いが、先生の休みがあるのか心配。
- ・先生の負担軽減。
- ・先生の負担が少しでも減るなら休日のみ地域クラブ活動がいいと思うが、地域クラブ活動になると対戦相手などはどうなるのかな？と思う。団体戦は学校同士の試合を子供も楽しみにしているので他の学校の子との交流もいいが、今は土日に練習試合などが入る事が多いと思うのでそこに地域クラブ活動が入ると練習試合はできるのか？と思います。今、子供が入っている部活の顧問の先生はとても熱心に指導して下さっているのでどんな形になっても先生には関わって欲しいと思っています。
- ・ボランティアへ任せるのに不安があるから。せめて平日は学校がよい。
- ・外部になると負担が増えるから。
- ・平日に他の学校などの別の場所に移動して行うのは負担が大きい。
- ・学校のクラブが少なすぎて、やりたいスポーツが選択肢にない。でも平日も身体を動かしておきたい。

- ・先生の負担を減らし、子供にもより質の高い指導ができそうだから。
- ・平日のコーチの確保の難しさ。
- ・平日は送迎も難しい方もいるため、参加出来なかった場合チーム内でレギュラーなどの選出の際保護者間や児童の間などでトラブルとなる気がするから。
- ・本来の部活を継続するべきだと思う。親の負担が大き過ぎる。
- ・取り組むべきというか、取り組んでいただけるとありがたいです。地域クラブ活動が自転車で通えない場所になってしまうと送り迎えが必要になると思いますが、仕事をしているため放課後の送迎ができないおうちもたくさんあると思います。それで子どもが制限されるのはかわいそうかなど…。
- ・平日は授業も終わりが遅いので学校である方がよいし、休日なら少し遠くても移動等に支障が出にくいと思ったため。
- ・下校後移動する必要がない。一旦下校してしまうと、活動が億劫になってしまうかもしれない。
- ・まだ少子化を実感できていないのですが、学校内での取り組みも可能な限り続けて欲しいです。
- ・学校の延長で友達関係を深めて、部活も楽しんでほしいから。クラブ活動になると、学校から離れた活動になって、各家族の親の負担が大きくなるから。
- ・平日は学校として休日は地域クラブにして学校の先生の負担も減るから。
- ・子どものことをよく知っていて、教育の視点から指導してくれる学校から完全に離してほしくないです。でも、働き方改革も理解できます。
- ・平日は送迎が難しいため。
- ・平日は活動場所への移動に課題がある。
- ・平日の放課後移動が大変そうだから。
- ・完全クラブ活動としては、監督コーチの人材確保が難しく運営問題も生じると思います。平日はこれまでのように学校の部活動として行い、休日はクラブ活動として行うようにする。ただし、学校とクラブ活動がうまく連携するのが好ましいと思います。
- ・子供本人の気持ちを尋ねたところ、平日は今まで通り学校部活動が良いと答えました。今後、地域クラブ活動が増えていくのは仕方がないと親も子も感じていますが、急に全て地域クラブ活動になるのは送迎や人間関係など少し不安があります。
- ・自分で参加すると決めたら自分の足で参加してほしい。
- ・他校への移動はどうするのか？休日は送り迎えできる。
- ・先生達の負担を考えると休日は部活指導員にお願いするのがいい。ただ平日ともなるとみてくれる指導員がいてくれるのか不安なところ。
- ・学校でのチーム、地域でのチームなどその場でしか経験できない事があると思う。また学校のチームなら尚更友人関係や思い出などいい体験だと思う。
- ・学校だけだと人数が少ないから。
- ・専門家からの指導も重要だと思う。
- ・働き方改革とか言われたら仕方ない。本当はいつもの先生に指導してもらいたい。
- ・移動の負担。
- ・バランスをとりながら活動できたらいいと思います。

- ・平日の放課後だと時間が限られていることや移動等で保護者の負担が大きい気がするため、学校部活動でできるとありがたい。
- ・往復の移動に時間がかかるから。
- ・平日の練習となると、指導者の確保が難しそうだから。
- ・学校活動も大切だと思う。学校活動が人数が減って、できなくなる。
- ・先生の負担。
- ・平日は学校で行う方が送迎せずに、帰りに活動することができるので安心できる。
- ・バスケット部 一年生 辞めないように。皆で頑張る。
- ・平日の送迎が難しい。
- ・うちの子供はずっと部活動と地域クラブをどちらも頑張っているから。両方から大会に参加させたい。
- ・教職員の時間外勤務の削減、ライフワークバランスを考えると休日まではお願いし難い。
- ・部活動のクラブが減ってきて、特に野球に関しては多額の部費を払って硬式野球を選ばざるを得ない状況。子供のスポーツ離れが加速しているから。

〈平日、休日ともに地域クラブ活動〉

- ・学校の先生だけでは大変だと思う。子供は運動やなにかしないと体力ないし精神力もつかない。
- ・学校の先生の負担が減るため。取り組むべきとは思わないが、どちらもあった方が子どもにはいいし、地域クラブにしたら先生方の負担が減らせるのでどちらにもメリット、デメリットがある。
- ・先生の負担が大きいので、地域クラブがいいと思います。しかし、練習場所が子供自身で移動できる範囲内であれば、難しいと思います。特に平日なら練習時間が限られているのに移動に時間がかかる、親の送迎がないと参加できない、など、課題はあると思います。
- ・教師はとても忙しいし、嫌々部活動に時間を費やすより、専門の人が適切な指導をする方が教師と生徒両方にとって望ましいと思うから。
- ・児童数の少ない学校はともかく、多い学校では、クラブ抜きで考えても教員の業務内容が多すぎる。子供たちの話を聞いていると、つまらない授業や笑顔もなく淡々とした授業をする先生もいるようなので、もしそれが日々の疲れから来ているのなら、クラブは別のところに任せて、楽しくクオリティの高い授業をしてほしい。結局、入試の時に困るのは子供たちなのだから。
- ・社会資源として地域クラブが充実することが望ましいと思います。地域クラブの充実なしに中学校教員の多忙化は改善されないと思います。
- ・教員人数が減少してきていたり少子化の事もあるので、学校生活と部活動は分けて考えたらいいのではないかと思います。また、経験者やそれぞれの専門の方を探すのも大変かもしれませんが、その方が教える側も生徒側も両方にとっていいのではないかと思います。
- ・教員の負担を減らす為。このままでは教員の成り手が減り続け、更に教育者の質が下がる。
- ・教職員への負担が大きいと思ったため。
- ・教師の負担軽減のため。
- ・教師の負担軽減が必要だと思う。また地域に任せることで、より内容の充実した活動が期待

できると思う（先生方は、顧問となる部活に詳しくなかったり未経験の場合もあると思うので）

- ・ そうだと、いいので。
- ・ 教職員の方々の負担を減らすため。専門的な知識と技術を持った人に教えてもらうため。
- ・ 先生の負担軽減。また、担任と部活の顧問を分けた方がいいのかな？と思いました。
- ・ 指導者が異なると考え方の違いにより選手が戸惑う事があるかもしれないから。
- ・ 中学校教員の負担軽減が必要だと思うから。
- ・ なるべく指導者が変わらないほうがいいと思う。学校部活動だと人事で指導者が代わる。教育委員会はクラブ活動の人事をあまり考慮せず、決定してるように思う。
- ・ 運動するのは必要と考える
- ・ 学校の先生の負担が大変だと思うため
- ・ どちらかに一環した方が良くと思うから！先生の負担も減るから！
- ・ より専門的な指導をうけることができる。もし、土日に部活動がないと、2日も何もしなかったら腕が鈍りそうだから。また、チームで活動することで人との関わりや他にも学べることもあると思うから。
- ・ 先生方の業務改善として。

〈その他〉

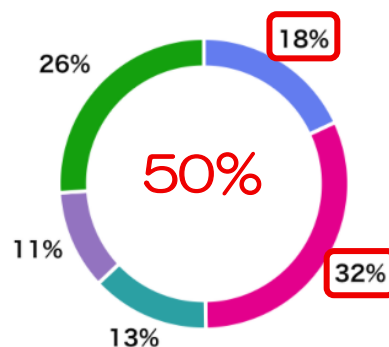
- ・ クラブ活動か学校活動なのか出きる方でやれば良いのでは。
- ・ 塾との両立ができなくなるから。学校部活動だとフルタイムで仕事をする親の負担が減る。
- ・ 部活動は学校の管轄だからこそ、多くの生徒が気軽に在籍でき、スポーツに取り組むことができる。完全に地域移行にしてしまうと少し敷居が高く、子どもたちが気軽にスポーツできなくなるかもしれない。しかし、スポーツ未経験の教員の方が顧問になってくださっても、なかなか子どもたちの力を引き出すことが難しく、良い環境で部活動ができない。そこは外部コーチを招いて指導してもらうことか望ましい。外部コーチと顧問が連携をとることで、教員の休日の確保も可能になればいいと思う。
- ・ 監督、コーチがいてのクラブ活動になるのでその方の負担になったりするのはどうかと思う。率先して前向きに教えてくれる！！という方がいるなら学校、地域どちらでもいいと思ったからです。今の子供が入っている学校のクラブチームの監督や来て頂いてるコーチにはすごくありがたいなと感謝しているからです。
- ・ 学校で部活動をしてほしい思いはあるが、先生方の負担を考えると地域移行も仕方ない。
- ・ 学校活動、地域活動、どちらでもよいが、平日休日問わず送迎の範囲が広がったりユニフォーム購入代などの負担が増えるのは困ります。（スポーツを躊躇することなく体験（どの家庭にとっても負担少ないので始めやすい）し、自分にあった環境を考えられるきっかけになるのが学校活動だと思います）このアンケートを実施するのであれば地域活動になれば、送迎、料金、など詳しい説明が必要だと思います。学校活動、地域活動、どちらでもよいが、平日休日問わず送迎の範囲が広がったりユニフォーム購入代などの負担が増えるのは困ります。特に子供の人数が保護者の人数より多くなるとスケジュールの管理や送迎の調整が困難です。放課後や休日にも各学校からの送迎があり、活動に関しての質問や責任がどこにあるか明確にわかるようであれば学校外の地域活動に賛成ですが、連絡が複雑、平日の送迎や、休

日の練習にも自転車で行ける距離ではなく送迎が必要になってくるのであれば各学校での活動を希望します。

- ・このアンケートを実施するのであれば詳細の記載が必要だと思う。今のところ学校の先生が休日の指導も行ってくれているので、感謝しています。が、とても負担になっているだろうなと思います。そして先生によっても熱心さや負担の差は大きいと思います。学校での部活動とは、どの家庭も負担が少なく、自分（子供）に合った種目に挑戦してみることができるのが利点だと思う。初期に揃える用具の負担や続けていく為の負担が少なかったり、放課後や休日に各学校から送迎（もしくはコミュニティバスのように巡回する交通手段）があり今までのように自転車など各子供が自ら活動できたり、質問や連絡の責任が明確に運営されるのであれば、種類も多く専門的に学べる地域活動に賛成です。子供の人数が保護者の人数を上回る家庭では、送迎や連絡、スケジュールの調整の負担が大きく（このアンケートも各子供で行わず一括して行ってほしい）放課後の部活動や習い事をさせるのはハードルが高いです。そういうニーズに応えてもらえる紀の川市になると、少子化や格差の解消につながると思います。
- ・親が出なければいけないなら部活なくていい。
- ・複数人の外部コーチの協力があると、先生の負担軽減にもなり、また子どもたちの指導も偏りなく広く習得できると思います。先生の指導だけでは経験がないと専門的な技術もなかなか得られないと思います。
- ・地域のクラブも良いと思う。通わせられない、送迎できない問題等もあるので、学校で活動ができたらありがたい。先生の負担を減らす為に、クラブは地域の指導者に任せる事ができたらいいなと思う。
- ・どちらがいいのか納得のいく内容なのか分からないため。
- ・子供が学校部活動をしているのですが経験のある先生が顧問をしてくださっていて力を入れてくれているというのがありがたくこれからも続けて欲しいと思うのと経験の無い先生が学校部活動を顧問にもつ負担は大きいと感じたからです。
- ・指導者の配置に問題があると思うが、種別によって少人数又は個人での活動も可能だと考えられることと、二人以上の複数の連携が必要な種別ではどちらかに偏った取り組みでは解決できない問題が生じると考えたため。
- ・外部チームに加入するとその分月謝が発生してしまうので、学校部活でもキチンと教えてもらえるのがうれしいですが、地域クラブなので専門的な知識のある人から教えてもらえたり、色んな人と交流出来るのもいいと思います。平日、休日としばらなくてもいいと思います。
- ・休日は勉強の時間等を確保してほしい。
- ・学校内ですると先生の負担、やりたい事が出来ない。地域にすると紀の川市は広いので遠方になる生徒も出てくると思います。そうなる子供への負担や、送迎で保護者の負担にならないのでしょうか？

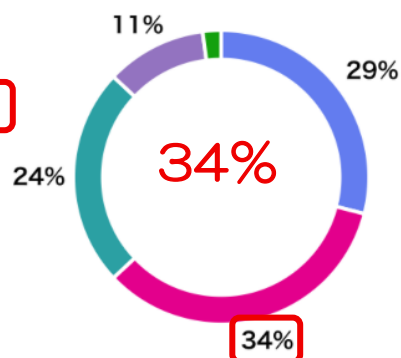
10. 休日地域クラブ活動への参加

● 希望する	41
● どちらかといえば希望する	72
● どちらかといえば希望しない	30
● 希望しない	25
● わからない	59



11. 「希望する」「どちらかといえば希望する」の理由

● 平日の部活動だけでは活動が足りない。	58
● 競技の専門的な指導を受けることができる。	68
● 学校の枠にとられない人間関係をつくることができる。	48
● 中学校部活動に設置されていない種目を選ぶことができる。	22
● その他	4



〈その他〉

- ・ 子供がやりたがっている。
- ・ 競技の専門的な指導を受けることができる。

12. 休日地域クラブ活動希望種目（複数回答）

● 陸上競技	15	● 吹奏楽	12
● 軟式野球	8	● 美術	3
● ソフトボール	2	● 技術	1
● バレーボール	16	● 数学	0
● バスケットボール	26	● 家庭（生け花家庭）	3
● ソフトテニス	18	● 英語	7
● 卓球	14	● 科学（園芸科学）	2
● バドミントン	11	● 茶道	2
● 柔道	2	● 音楽	2
● 剣道	2	● 社会	0
● 空手道	4	● 放送	1
● 少林寺拳法	2	● 書道	3
● サッカー	8	● その他	7
● ハンドボール	17		

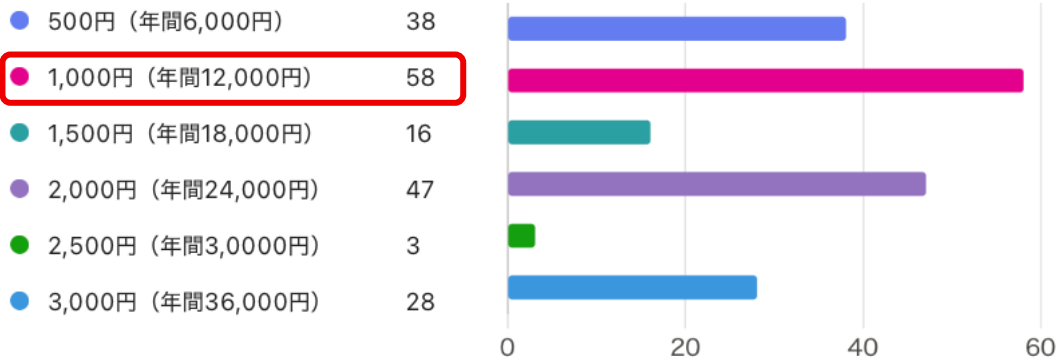
〈その他〉

硬式野球、水泳、子供がしたいこと

※1つの種目を選択した保護者… 79名/227名 (34.8%)

複数の種目を選択した保護者… 31名/227名 (13.7%)

15. 休日地域クラブ活動毎月負担可能額



16. 「希望しない」「どちらかといえば希望しない」の理由

● 休日は他のことに時間を使う予定がある	21
● 平日の部活動で十分	17
● 練習試合や大会等への送迎が負担である	27
● 月謝等の活動費が負担である	22
● 活動場所までの移動が心配である	18
● 他校の生徒との人間関係が心配である	4
● その他	5

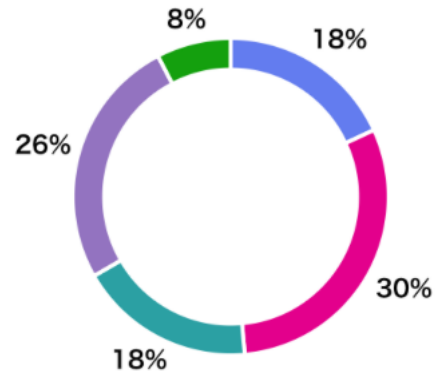
〈その他〉

- ・チームプレーの場合平日と休日で人が変わると練習する意味がなくなってしまう気がする。
- ・現在、休日に部活動に行っていないから。
- ・部活動で行いたいから。;

小学校教職員アンケート調査結果

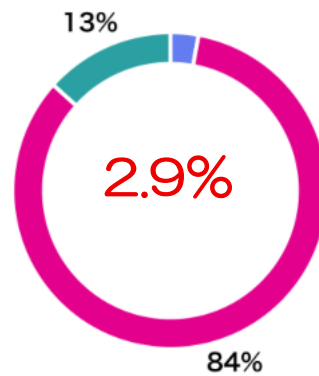
1. 年代

● 20代	19
● 30代	32
● 40代	19
● 50代	27
● 60代	8



2. 休日の地域クラブ活動の兼職兼業

● 希望する	3
● 希望しない	88
● わからない	14



3. 兼職兼業の謝金希望額

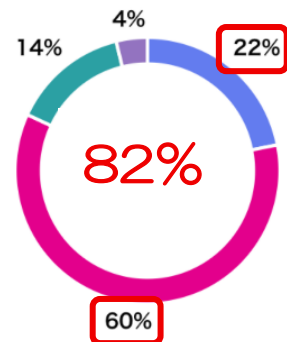
● 無償でもよい	0
● 500円程度/時間	0
● 1,000円程度/時間	1
● 1,500円程度/時間	2
● 2,000円程度/時間	0
● その他	0

4. 希望種目（複数回答）

● 陸上競技	0	● 吹奏楽	0
● 軟式野球	0	● 美術	0
● ソフトボール	0	● 技術	0
● バレーボール	0	● 数学	0
● バスケットボール	0	● 家庭（生け花家庭）	0
● ソフトテニス	0	● 英語	0
● 卓球	0	● 科学（園芸科学）	0
● バドミントン	0	● 茶道	0
● 柔道	1	● 音楽	0
● 剣道	0	● 社会	0
● 空手道	0	● 放送	0
● 少林寺拳法	0	● 書道	0
● サッカー	2	● その他	0
● ハンドボール	0		
● ホッケー	0		

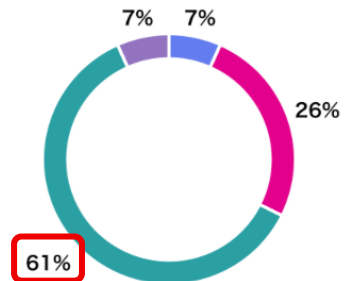
5. 全国的な中学校部活動の地域連携・地域展開について

● よく知っている	23
● 少し知っている	63
● あまり知らない	15
● まったく知らない	4



6. 中学校部活動のあり方

● 平日も休日も学校部活動として取り組むべき	7
● 平日は学校部活動、休日は地域クラブ活動として取り組むべき	27
● 平日も休日も地域クラブ活動として取り組むべき	64
● その他	7



〈その他〉

- ・あまり考えたことがない
- ・ケースバイケースだと思う
- ・わからない
- ・地域の実態に合わせるべき？
- ・中学校の実態がわかりませんが、部活を大切にされてる先生もいると思うので、何とも言

えないのです。



7. 6の回答理由

〈平日、休日ともに学校部活動〉

- ・指導者、練習場所などは統一させた方が混乱を招かないと考えるから。
- ・中学校の先生の勤務形態には柔軟性を持たせることが前提ですが、平日も休日も学校部活動として活動することは、生徒の心身の成長になると思います。
- ・本気でしている部活、趣味程度にしている部活に温度差があるように感じます。趣味程度の部活なら教師の負担も考えて地域移行もいいと思いますが、本気で全国目指してしているなら学校部活動でしたいと考えました。土日は特に遠征や合宿に行くいい機会なので…
- ・指導するに辺り、生徒の内部事情も知った上で関わる必要があると考えるので、プライバシー保護等の観点から、外部となる地域クラブに任せるには危険や困難があると考えたため。
- ・やはり同じ指導者が統一した指導をした方が良く思うから。

〈平日は学校部活動、休日は地域クラブ活動〉

- ・教員の負担軽減になるため。平日も休日も地域クラブ活動にすると、送迎等保護者の負担が増えるため。
- ・教員の負担軽減
- ・中学校の先生の負担が大きいと思うから。
- ・平日は無理のない範囲で教員が関わることで、生徒たちとの信頼関係が築かれ、学校生活にも活かすことができると思うから。土日は、教員の熱心さによって、練習量や教員の負担に大きな差が生まれ、不公平になるから。
- ・教職員が休日出勤する必要はないと思う。平日も勤務時間内に帰れない日が多い中で、休日出勤は間違っている。負担が大きい。
- ・休日は勤務時間外ということもあり、問題視されている教員の定額働かせ放題を助長していると感じる。しかし、部活動を指導したい思いから中学校の教員を志す人もいると思われるので、平日の勤務時間内であれば指導をできる余地を残しておくことで、指導をしたくない人、したくない人の意見をくみ取れる気がしたから。(休日だけでなく平日も地域の指導員を招いていいと思う。自分が中学生の頃は、先生以外にも外部コーチが来てくれていた。)
- ・中学校教師の部活動に割く時間が多すぎる。
- ・クラブ内の児童生徒の様子を教員が実際に目で見て知っておくことが不登校やいじめ対策につながると考える。が、休日については、教員の働き方改革からみても地域に委ねたい。
- ・家庭環境などによってスポーツができる環境が奪われることは避けたいと思う。あとは指導者確保の問題もありますが・・・
- ・クラブ活動で見られる子どもの一面もあるから。それらを踏まえた上で学級経営や関係作りができる。
- ・平日も地域クラブになった場合、保護者の送迎が必要となる地域も出て来ることが考えられ、保護者の負担が増える可能性もある為。

- ・中学校の先生が休日もクラブ活動として担当したら休みがないから。
- ・先生方の勤務が多く、大変。
- ・学校部活動は、平日だけで良いと思う。
- ・休日は教員も休むべきと考えるから。
- ・指導教諭の方の代休などが取りにくいとよく聞くので。
- ・クラブ活動は教育的な意義も大きいと思いますが、先生方には働き方改革のこともあり休日まで部活動の指導を強いるのは無理があるため。ただ、連携がうまく機能するような工夫が必要と思う。
- ・教員の働き方改革に週休日の確保は必要だと思うから
- ・土日のクラブ指導は負担が大きすぎるから。将来的には、平日も地域クラブとして取り組んでいく方がいいと思うが、まだまだ難しいと思う。
- ・先生方と生徒の負担軽減。平日の学校部活動を基本として、休日は部活動を重視したい生徒だけが参加する形が良い。

〈平日、休日ともに地域クラブ活動〉

- ・授業研究が疎かになるから。
- ・個人の意見として、学校教育活動の中でクラブ活動を通じて得られる学びや魅力は大きいと感じている。しかし、教員が希望する部活動への参加機会の保障や教員の負担を考慮すると、学校現場全体としてはその両立は困難であるとも感じている。以上の理由から、平日・休日を通じて地域クラブ活動として実施することが望ましいと考えます。
- ・生徒が専門性の高い指導を受けられる。
- ・教職員の人数が足りない、負担が増す一方と思ったので。
- ・教職員の負担が大きいため。
- ・教職員の負担軽減のため。
- ・教職員の多忙解消のため。
- ・教員の業務負担のため。
- ・クラブ活動を互いに高め合う場にするなら、専門的に取り組んだほうが良いと思います。コミュニティーや人のつながりを意識しても、人気のない部活があったりするので、学校で取り扱うことなのかなと感じます。
- ・教職員の業務軽減を目的とするなら、地域クラブ活動とするべき。クラブ活動を担当したい教員については妨げない。
- ・放課後や休日の部活指導、専門外の部活指導は、負担がかかっているように思う。
- ・授業準備や校務分掌の仕事の比重が大きいままである以上、クラブ活動の指導の負担は減らないと思いました。また専門性の高い指導を受けられる方が活動内容の充実が図れるのではないかと考えます。
- ・教員の負担が大きいため。
- ・先生方の負担を減らすのと、専門的な知識・技術を持った者に、指導してもらおう方がその種目をより知れ、楽しさも増すと思うから。
- ・教員の移動（顧問が変わること）で指導方針や内容が変わってしまうのを防ぐ。子どもたちの選択の幅を広げられる。

- ・経験のない部活動を指導するのが大変そうだから。
- ・中学校でのクラブ指導が教員の負担になっているのではないかと思うからです。
- ・担当の部活指導経験などがなくまま指導者になると、適切な指導が難しいため。
- ・部活動以外の授業準備や児童生徒対応など、部活動以外の時間確保が困難になってきているため。
- ・普段の業務が部活動をすることによって、質が低くなる可能性があるため。
- ・教員にとっては平日の放課後、授業準備等に充てる時間が確保でき、生徒にとっては平日も休日も同じ環境で活動できるのが良いのかと思います。
- ・教師の生活を守ってください。
- ・指導する立場、指導される立場として専門外の指導は難しい。できることなら専門の方に教えてもらえたら一番良いと考える。
- ・教員は普段の業務がとても多く、心身ともに負担が大きいから。
- ・どちらかに統一した方がよい。学校の部活動としては人数が減っているため、地域クラブ活動として人を集めた方がよいと思う。
- ・1つの学校で活動がままならないことも出てきているため。
- ・部活動が「学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務」とされているため。
- ・教員は、担当するスポーツが得意な方ばかりではないし、やりたい方ばかりではないので、負担が大きいと思います。
- ・部活指導者の配偶者配慮のため。
- ・クラブ活動の負担が大きすぎるから。
- ・教員で部活動を指導できる人の数には限りがあるから。また、教員としての仕事をこなしながら、部活動の指導をするのは、時間が足りず、子供達が望んでいる部活動の実施が難しくなっているから。
- ・自分が育ってきた時代からは、随分、世の中の考え方も変わってきているので、一概には言いにくいところではありますが、先生方の負担を考えた時、部活動については平日も休日も一貫して、地域移行する方が良いのではと考えます。本音は、教職員を増やし、先生方の負担を軽減して、平日も休日も学校部活動を行うのが良いと考えます。
- ・教職員の働き方改革もあるが、児童数減少の中で、単独の学校で思うような活動が難しくなっているのではないか。
- ・体育科がスポーツ活動を担ってきたが、児童生徒の減少や本来の体育科教科指導への注力等の理由からスポーツ活動を地域コミュニティ活動の組み込んでいく必要がある。価値観の転換が必要である。中体連の大会を縮小すべきである。ゆくゆくはクラブチームの大会へ移行していくべきである。サッカーの指導に携わってきた関係からこのことは先進的な動きを見せていると思う。
- ・多くの中学校教員の負担が大きい。
- ・専門的な指導を受けられること、教職員の働き方改革のため
- ・学校の規模に関係なく、自分が希望する部活動を選択できるから。また、教員の働き方改革の一つとして取り組む必要があると思う。
- ・部活数に対して先生の数で十分でない学校もあるから。
- ・専門的な指導を受けられるから。

- ・クラブの活動人数を確保するため。
- ・中学校教師の仕事の負担が大きすぎると思うから。また、小規模校だとクラブ活動の数が限られており、生徒が入りたいクラブに入れなかったり、指導者側も専門や得意でないクラブを担当しなければならなかったりするというような話を聞いたことがあるから。
- ・教員の負担が大きく顧問をしたい方と専門外で担当している方もおり、大会役員で休日も春季夏季新人大会にでなければならず県大会の開催地になると前日準備で遅くまで会場設営しと土日も終日拘束されてしまう。これまでは教員が関わるのが当たり前と思っていたが民間とのギャップを感じてしまう。地域展開することで勝利至上主義・大会至上主義に走る指導者も出てくるであろう。地域展開に本腰を入れるのであれば担当課・室を設置し紀の川市の将来ビジョンを示す必要があるのではないのでしょうか。今の現状では曖昧な部分が多すぎるように思います。指導者にはそれ相当の覚悟と報酬が必要であると考えます。
- ・すべき仕事が多くて負担になるから。
- ・平日も休日もボーダーあまりないように思う。自身の子どもを見ていてそう思う。平日も夜遅くまでしていることもあり、教諭が負担すべきではないと思う。地域展開して、それぞれが選択すればよいと思う。外部の専門的なクラブ活動を希望するご家庭も多いように思う。
- ・教職員の勤務時間の軽減のため。
- ・中学校教員の業務負担や、少子化により地域の中学校に希望クラブ等があるのかを考えたとき課題が生じるように思うからです。段階的に学校部活動から地域部活動へと移行できることが望ましいと考えます。
- ・学業がおろそかになってはいけなくて、学校側はある程度、協力見守りなど介入は必要と思いますが、地域活動が充実しているなら、二局体制で行うより、委ねてしまった方が問題は少ないのではないのでしょうか？
- ・働き方改革

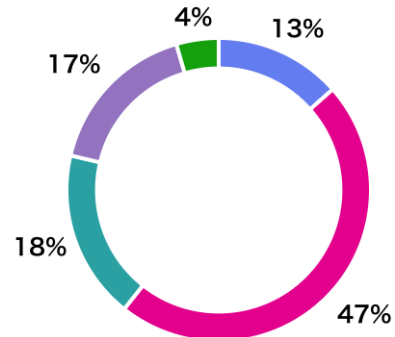
〈その他〉

- ・小学校教員なので、中学校のことにあまり考えていない。
- ・チーム活動は、生徒指導を兼ねている部分もあるため、教職員の関わりが必要な事があるため。
- ・どちらにも良さ・悪さがあるのではという気がします。
- ・私自身は、部活はしたくはありませんが、中学校の先生はどう考えているか難しいです。
- ・全国的な動きを鑑みるのはもちろんのことですが、中学校部活動の目的をどう考えるかによって取り組み方も変わってくると思うので、まずはその方針を決める必要があると思います。アンケートで意見を聞くことも大切ですが、現状の把握と今後の見通しを示していくことも大切ではないのでしょうか。スポーツ庁のポスターを添付しているということは、休日のみという方向性であると考えればよいのでしょうか。現在は学校の部活動に入部していなければ出られない大会もあると聞いたことがあるので、一概にどうあるべきだとは答えられないからその他にしました。
- ・学校部活動、地域クラブのどちらも良し悪しがあると思うので。生徒の、活動活躍の場は無くしてはいけないと思う。

中学校教職員アンケート調査結果

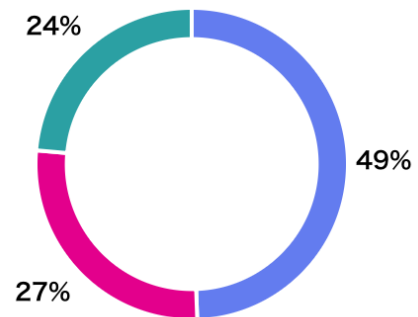
1. 年代

● 20代	12
● 30代	42
● 40代	16
● 50代	15
● 60代	4



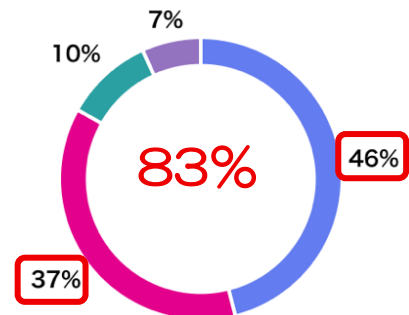
2. 現在、部活動の顧問を受け持っていますか。

● 受け持っている	44
● 副顧問として受け持っている	24
● 受け持っていない	21



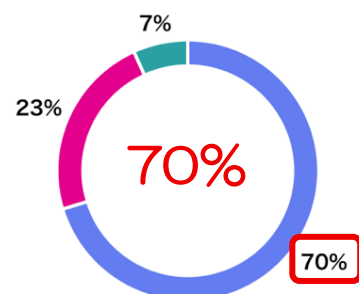
3. 部活動に対する負担感についてお答えください。

● 負担を感じている	41
● どちらかといえば負担を感じている	33
● どちらかといえば負担を感じていない	9
● 負担を感じていない	6



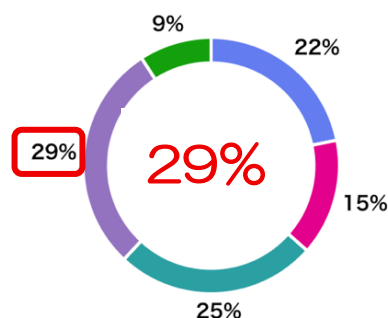
4. 「負担を感じている」「どちらかといえば負担を感じている」

● 休日・平日に関わらず部活動指導が負担である	52
● 休日の部活動指導が負担である	17
● 平日の部活動指導が負担である	5



5. 負担を感じる理由（複数回答）

● 担当する部活動の専門性がない	43
● 大会の申込等の事務作業が多い	29
● 休日の練習指導や大会引率	50
● 授業準備、校務分掌等、本来の業務時間が圧迫される	57
● その他	18

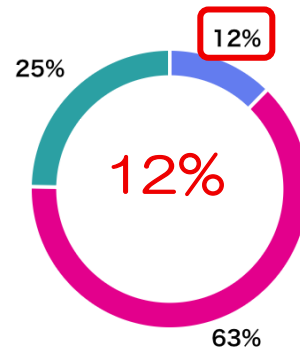


〈その他〉

- ・私自身の学ぶ時間がなかなか取れない。
- ・業務なら負担ではないが、業務ではないのにやらされていると思うと心理的な負担が大きい。
- ・育児との兼ね合いなど。
- ・勤務時間内に帰れない。「帰ればいいのか」と言われても他の部が活動しているのに帰れるわけもなく・・・。本音を言うと平日の勤務時間外の部活動に特殊業務手当をつけるか、勤務時間内に終わってほしい。主で顧問をもっている教員とそうでない教員と同じ給料なのが不思議。部活動自体は嫌いではありません。
- ・主顧問と副顧問の負担感の違いと、それに見合った給料への反映がない。
- ・この異常気象の中での屋外の活動は、体に応えます。クラブ終了後にも業務が控えていても、体がもちません。
- ・安全管理、用具、消耗品の準備及び修理、ユニフォーム購入手続き等多岐にわたる事務作業。
- ・保護者の過度な要求。
- ・保護者対応。
- ・協会の大会運営など中体連と関係のない活動が多く、同じように来ていても一般の人には交通費や謝礼が出るのに教員には出ないところ。
- ・本来の業務ではないのに、顧問を持つか否かの選択権がなく、必ず何かの顧問を持たなければならない。
- ・家庭、育児への負担。
- ・勤務時間を超えて部活の時間が設定されていること。
- ・部活動で生徒が帰ってから授業準備をすると、退勤時間がとても遅くなる。
- ・部活動内の人間関係と保護者の考え方。
- ・部活動の引率以外の大会審判を強要される。
- ・全員が集まる会議が勤務時間外になる。
- ・公私問わず自分の時間が削られる。

6. 休日の地域クラブ活動の兼職兼業

● 希望する	11
● 希望しない	56
● わからない	22



7. 兼職兼業の謝金希望額

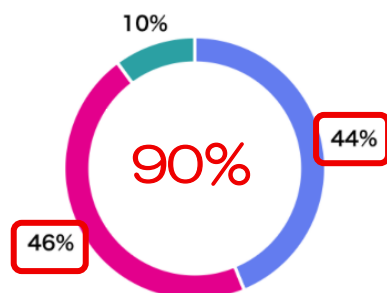
● 無償でもよい	0
● 500円程度/時間	0
● 1,000円程度/時間	3
● 1,500円程度/時間	5
● 2,000円程度/時間	3
● その他	0

8. 希望種目（複数回答）

● 陸上競技	1	● 吹奏楽	1
● 軟式野球	3	● 美術	1
● ソフトボール	1	● 技術	0
● バレーボール	3	● 数学	0
● バスケットボール	1	● 家庭（生け花家庭）	0
● ソフトテニス	0	● 英語	0
● 卓球	0	● 科学（園芸科学）	0
● バドミントン	0	● 茶道	0
● 柔道	1	● 音楽	0
● 剣道	0	● 社会	0
● 空手道	0	● 放送	0
● 少林寺拳法	0	● 書道	0
● サッカー	2	● その他	0
● ハンドボール	2		

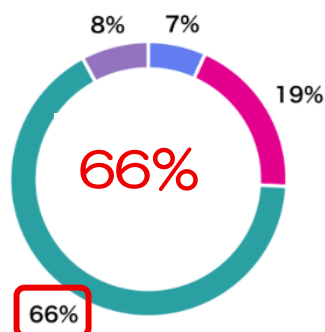
9. 全国的な中学校部活動の地域連携・地域展開について

● よく知っている	39
● 少し知っている	41
● あまり知らない	9
● まったく知らない	0



10. 中学校部活動のあり方

● 平日も休日も学校部活動として取り組むべき	6
● 平日は学校部活動、休日は地域クラブ活動として取り組むべき	17
● 平日も休日も地域クラブ活動として取り組むべき	59
● その他	7



〈その他〉

- ・ ケースバイケース。
- ・ どうす“べき“という考えはない。
- ・ どうとも言えない。
- ・ まだ考えが定まっていない。
- ・ 地域クラブ活動として取り組むかどうかより、まず教員に顧問を持つか持たないかの選択権を与えるべきである。
- ・ 難しい。
- ・ 平日は小学校同様に。



11. 10の回答理由

〈平日、休日ともに学校部活動〉

- ・ 学校なら学校、地域なら地域とするべきかと思います。指導者が、学校と地域で分けられると、指導の違い等で、生徒も指導者も困ることが予想されるのではないのでしょうか？
- ・ 部活動が活発だと子供達にもいいような気がする。自分自身もそんな時代に学生だったからか、つついそう思ってしまう。
- ・ 部活動で救われる生徒がいるのが現状であり、部活動の一面を見ることで学校生活に教師生徒のお互いがプラスに働くことが多い。負担はあるが、負担感の少ない方法で部活動を継続することが一番ではないか。また、大会参加費や備品などの準備などの面でも、学校にクラブを残す方がメリットは有るのではないか。
- ・ 学校単位ではなく、市単位でクラブ活動を整備し、学校に設置する部を制限する。(陸上は粉河中、バスケットは打田中・・・といった感じで市で部を設置する学校を決定する方法。)そこに兼職兼業の制度を整備し、勤務時間終了後から90分程度の活動を行う。指導においては、専門性のある学校職員や希望する学校職員を指導者として派遣をする。そこに地

域の指導員も入れれば尚更指導体制は整うのではないか。

- ・ 前述の回答と矛盾するが、部活は教育的意義が高いと考えている。しっかりと業務としての位置づけ賃金の整備をすることが大切だと思う。部活に携わる時間的負担・金銭的負担の改善のためにも仕事と明言し、課業・課外の業務総量から全体を見直すべきである。

〈平日は学校部活動、休日は地域クラブ活動〉

- ・ 子どもとの関わりや関係づくりと、教職員の負担のバランスを考えた時に、一番適していると考えたから。
- ・ クラブ活動は、生徒との関係を築くこともでき、完全に学校と切り離すのも違うような気がするからです。
- ・ 休日出勤は教師の負担が大きいため。休日に出勤する場合、それに見合った報酬をだすか、外部に委託するべきだと考える。
- ・ 様々なニーズがあるので、部活か、地域クラブか選択できる方が良いと思います。
- ・ 生涯スポーツのきっかけとなる場として、また、学級や学年を超えた社会性を育む機会として、公立中学校で放課後に部活動を行うことには大きな意義があると考えます。ただし、休日に部活動の指導や業務があることで、顧問や関係教員のプライベートの時間が圧迫されることは大きな課題でもあると考えるので、希望する生徒は休日に民間・地域のクラブ活動に参加することができれば良いと考えました。
- ・ 現在、クラブを頑張ることで悪とされる風潮があり、以前のように本気で取り組めない状態がある。個人としてはクラブ指導は学級担任を持つことよりクラブ顧問を持つことの方が大変で、責任もあることなので、教育者として経験があると思っています。クラブ指導できない教師は現場でも使えない教員が多いです。自分の権利ばかりで子供達のことは二の次なので、頑張れる場所を設定してもらえたらやりがいも出てくると思います。ただ、教師の質はさらに下がると思います。。。。
- ・ 専門性を高めるため。
- ・ 様々な大人が生徒達に関わってくれた方が新しい視点や考え方が生まれて良いと思ったから。
- ・ 教職員の働き方改革を考えると、休日は休日として、休む時間が必要だと思います。一方で、部活動の時間は、教室外での生徒との交流、生徒理解にも繋がるものなので、平日は教職員で部活動を見るべきだと思います。
- ・ 分業できるならしたい。
- ・ 生徒が平日に外部でするには、コーチが平日でも教えられる、時間に余裕がある人でないと難しいから。
- ・ 部活動が教員の負担になっている面は少なからずあると思う。そのような観点から見ると、指導を地域で請け負ってくれることは心理的・物理的な面でありがたい。ただ、部活動の教育的な効果を考えると、すべて切り離すのはもう少し時間をかける必要があるのではないか。
- ・ 平日は勤務中に指導ができる。

〈平日、休日ともに地域クラブ活動〉

- ・教員の業務が多いため、部活動の時間を有効に使えるようになるから。
- ・教員の働き方を変えるため。
- ・休日だけの職業として地域移行をしても、指導者にとって大した稼ぎにはならないので、都会ならともかく田舎では指導者が見つからないのではないかと思います。また、指導者が日によって異なってしまうと、責任の在処が難しいように思うからです。ただ、生徒にとって部活動が居場所であることもままあります。生徒にとって良い形で地域移行を進めてもらえることを願います。
- ・働き方改革・業務削減のために。
- ・部活動の指導以前に学校の授業準備や事務作業の量が増えすぎて、負担になっている。そっちを減らすべき。
- ・運営のシステムが異常で教員の犠牲の上に成り立っているから。
- ・専門性のない部活動の顧問をするのは大変負担です。専門のある方が、希望者のみ部活動を担当できるようにしてほしいと思います。
- ・教員の勤務時間内に終われるなら構わないが、超過は当たり前。子供達と楽しみながらできるならいいが、そうでない時はただただしんどい。休日に出勤しなければならないのも負担感を感じている。
- ・正当な報酬が支払われるべきであるから。
- ・全国的にそのようになっているため
- ・土日だけを地域クラブとしたところで教師への負担軽減はわずかだと考えられる。結局、平日（特に夏場は2時間）の業務負担に変化がない結果となったり、顧問会議や大会準備は教諭のみで行うのも変化がなさそう。加えて、教諭が部活動指導員として登録でき、平日時間外の手当を当てるなどの対応ができれば人員確保の可能性が広がるのではないだろうか。当然、予算やあらゆる問題があり大変ではあると思いますが、地域展開をお願いします。ご対応ありがとうございます。
- ・教員の働き方を考えた方が良さから
- ・勤務時間内に終わるならやりたいです。土日は特業があるのでやっても負担に感じません。平日にも部活動をみにしている教員に特業がつくなら勤務時間を過ぎても仕事だからと負担に感じません。教職調整額をあげてもらうのも有り難いのは有り難いですが、部活を見ずに帰る教員（副顧問など）と差別化ができません。みたい人、では無く、みたら特業が発生する（勤務時間が過ぎてから時給で）のでどうでしょうか。少なくとも、あるなら無い人と差別化できます。・・・まあなかなか難しいと思うので、それならいっそのことすべて移行でもと思い、選択しました。
- ・働き方改革
- ・大会に地域クラブが参入してくるとなると、正直、学校として出場するチームは惨敗すると思う。また、出場する際は顧問は審判をする必要があり、専門性のない教員にとっては精神面でも金銭面でも大きな負担となる。また、平日は学校活動、休日は地域クラブというのは、生徒も教員もモチベーションが上がらない。
- ・負担を減らすため
- ・給料システムが変わらない限り、負担感の差は埋まらないと思う。また、専門外の顧問を持つことになった場合の負担は計り知れないと考えているから。

- ・異常気象の中でのクラブ活動は、私自身の体に大きな負担となっています。クラブ運営の根本を見直さないといけないと思います。
- ・授業作りに集中したいから。仕事以外の時間も充実させたいから。
- ・学校の活動から切り離すには、中途半端ではなかなか実現しないから。また、活動場所は生徒自身が見つけていくべきだと思うから。
- ・専門性を持った指導員の方が生涯スポーツとして学ぶことができるから。
- ・教職員の時間拘束の長さ、土日祝は仕事時間と金銭が不釣り合いで家庭の時間が犠牲となる
- ・教職員のすべきこととそうでないことの棲み分けが必要。できる人はしたら良い。
- ・生徒がクラブチームに流れて中学校の部活動の存続が危ぶまれているところもある。限られた人数で部活動を運営し大会に挑んでも、クラブチームができて中体連にも参入しつつある中で、大会等で勝ち上がっていくのはクラブチームがほとんどである。その状況下でも大会を運営していくのは教職員というのがおかしいと感じる。また、それでも部活動がなくなる限り同じようにやっていかないといけない負担が大きい。専門外で嫌々ながら引き受けている先生方も多い。また、そもそも部活動の活動時間が勤務時間を超えるのが当たり前という認識も変えていくべきではないかと思う。
- ・地域クラブに移行し、専門性のあるところ指導等に行くこともできる。専門でない教員が持つところを見るととてもしんどそうだから、平日も休日も地域移行クラブにしてしまうといいと思う。また、一般も教員も対等な関係にしてもらえるとありがたい。ボランティアといえば聞こえはいいが半強制で何も報酬がないのは理不尽。
- ・部活動は勤務時間外になることも多々あるから。
- ・生徒にとってクラブ活動そのものはとても意義のあるものだと思う。教職員にとっては、時間外業務の大きな原因となっていて、圧倒的に休日が少ないと感じる。
- ・教員の負担が大きすぎるから。
- ・部活動のことしか考えずに、本来の学校業務をおろそかにする教員が少なからずいるため。
- ・競技の専門が指導できる地域クラブに所属することで、多くの大人と関わり気持ちのあり方や接し方も多く学べるほか、技術面向上は部活動よりもはるかに有利だと考えるから。
- ・教員の負担感の解消。
- ・まずは授業や校務分掌などを集中して取り組みたい。
- ・学校の指導者と地域クラブ活動の指導者の連携が難しいと思うから。
- ・特に平日の放課後は、担任をもっていればクラスの生徒の対応や、授業準備に時間を使いたいです。しかし、部活動があればそれが終わってから(勤務時間終了後から)になります。教員が対応する事が多く複雑になっているため、少しでも外部に委託できる業務は、部活動に限らず委託するべきだと思います。
- ・教員の負担軽減のため。
- ・部活動が授業準備などの校務に影響が出ている。また、ライフステージにあった生活ができない。現在三歳未満の子供が2人いる、親も要介護であるなど、それぞれに家庭の事情がある。学校にはお願いして、融通がきくようにしてもらっているが、県の各スポーツの専門部はそういったことを加味せず、生徒引率以外の全国大会や近畿大会、県大会の審判を地方の割り当てとして、審判の仕事押し付けている。県大会においては、交通費や1

日の業務への手当ても出ない。近畿大会や全国大会においては、宿泊である。私は専門のスポーツを指導しているので、働き始めてからずっとこの状態が変わらない。昔は単身で身動きが取れたが、今はそうではない。それをわかってほしい。早急に地域クラブへの移行をお願いしたい。

- ・平日と分けても、結局は学校が関わることになるので、一度全てを地域クラブ活動でしてみても良いのではと考えました。
- ・教職員の勤務時間超過の問題解消のため。
- ・部活指導は本来の業務ではないため
- ・平日と休日の指導者が変わると指導の一貫性がなく、子供たちに混乱が起こると考えられる。また、部活指導は教育課程外なので本来あるべき形が良い。
- ・地域移行を進めていくためには、まずは地域の受け皿をつくる必要があると思うから。また、現実的にはなかなか難しいと思うが、理想を言えば平日も休日も同じ指導者が指導する方が良いと思うから。
- ・連携を必ずうまくできるかどうかわからないから
- ・このことについて、真剣に考えていかないと、教員のなり手が本当になくなる。
- ・教員の業務が多すぎる。
- ・教職員の負担軽減に大きく繋がると想像できるから。クラブ活動をしたい教職員については、兼務も可能にしておくよ。
- ・指導の一貫性を保つには指導者を統一した方がよい
- ・教職員の負担軽減のため。
- ・生徒数が減る中、学校で生徒が取り組みたいクラブを設置することが難しい。クラブとして取り組むのなら、平日も休日も同じメンバーで行うのが良いと思う。しかし、地域での活動となると、行き帰りの交通手段の問題等、課題も出てくるのではないかと思う。
- ・平日休日に関わらず中学校でのクラブ活動自体が教職員の負担になっている。

〈その他〉

- ・教育的価値は高いと思うので、一概にこれといって決めつけるべきではない。専門性のあるものや、様々なケースもあるのでその状況に応じて学校、担当教員とも話し合いながら柔軟に取り組む必要性を感じます。
- ・人それぞれ考え方はある。からわからない。
- ・地域移行になり、教職員の負担が減るのはありがたいが、保護者や生徒の負担が増えたり、生徒の頑張りが見えづらくなるので、なんとも言えない。
- ・部活動の指導は教員の本来の業務ではないのに、強制的に顧問を持たされていることが不合理であり、教員の超過勤務の原因となっているから。
- ・仕事量の負担は軽減されると思うが、学校と部活動を切り離していくと学校がどうなっていくのか心配な部分もある。
- ・グラウンド開放日や体育館開放日を設けて、日直が1人付く。自分の子どもや自分のプライベート時間がなくなるため。部活をやりたい人がやるべき。

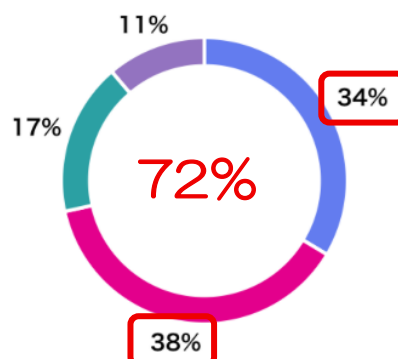
関係団体アンケート調査結果

1. 所属

● 近畿大学生物理工学部	23
● スポーツ少年団	23
● 体育協会	9
● 企業	2
● 文化協会	46
● 部活動指導員	6
● その他	7

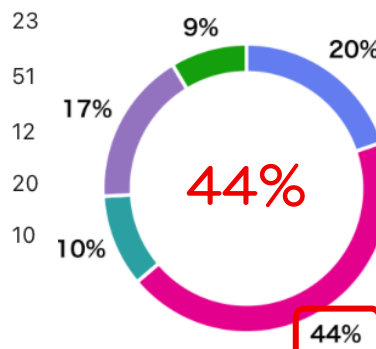
2. 全国的な中学校部活動の地域連携・地域展開について

● よく知っている	39
● 少し知っている	44
● あまり知らない	20
● まったく知らない	13



3. 中学校部活動のあり方

● 平日も休日も学校部活動として取り組むべき	23
● <u>平日は学校部活動、休日は地域クラブ活動として取り組むべき</u>	51
● 平日も休日も地域クラブ活動として取り組むべき	12
● わからない・考えていない	20
● その他	10



〈その他〉

- ・ どちらでもない
- ・ どちらでも良いが、より熱心に取り組める活動環境が整えられているべきであると思う。
- ・ 学校と外部指導員が協力して部活動として取り組むべき。
- ・ 基本的に平日は学校部活動、休日は地域でというのは賛成ですが、すべきとまでは言えないのでは。それぞれのクラブでの事情や内容にもよると思いますし、顧問の先生の負担、外部から来てもらう指導者の都合などもあると思います。
- ・ 生徒のことを考えると現状どおりが望ましいと思うが、時代の流れであるなら生徒に不利益が生じないように進める必要がある。
- ・ 併存

4. 3の回答理由

〈平日も休日ともに学校部活動〉

- ・働活動き方改革もあると思いますが、学校部活動を廃止すれば、競技人口が減ります。
- ・学校という義務教育の場で、さまざまな生徒が平等に部活動ができる環境であるべきだから。地域移行により金銭的に負担がかかったり、家庭の協力による差が生まれることは教育的に良くない。特に和歌山のような人の住む場所が分散されている地域では、練習場所までの移動が不便であるため、生徒たち自らが参加したくても環境によりできない可能性が高い。
- ・部活動も教育の一環であると思います
- ・休日は部活動を休めば良い。
- ・先生方の働き方改革が出発点になっていると思います。先生方の負担、部活動の趣旨を整理し、地域に何を求めているのか示してください。判断すべき情報が全くスポーツ少年団指導者層に伝えられていませんので、団内での議論になりません。スポーツ部門の受け皿としてはスポーツ少年団になると思います。関係者は関心を持っています。移行イメージ図的な物もあると聞きました。1年経って何もなしでは判断しかねます。
- ・地域クラブの活動は、毎日行うのは厳しいと思うので、学校部活動の中で専門的な指導者や地域クラブの協力があればいいと思ったため。
- ・義務教育という中での学校部活として取り組むことが大切である。預けている保護者にとっても安心感がある。しかし、先生の働き方改革も考えていかなければならないと思います。学校教育と部活は専門の先生を設置することができたらと考えます。また、地域クラブ活動とする場合でもその指導者となる人のその専門性の能力、指導力や倫理観の精査、様々な項目をクリアして、初めて指導者としての登録、また、その指導者の賃金や保障、賠償責任、他にも様々な課題を明確にして初めて指導者となる仕組みを作っていかなければならないと考えます。地域で好きでスポーツをしている人に安易に任せる事は生徒の安全安心を担保できない！このアンケートをとるための社会情勢や経緯をまず最初に明確にして欲しい！具体的には『紀の川市学校部活動の地域連携・地域移行推進協議会』で何を議論されたのか？何処かのタイミングでよろしく願います。
- ・指導者確保、指導者報酬、活動費個人負担増、受益者負担増による活動に参加困難者が発生する可能性が高くなる。
- ・自分自身が毎日部活動をしており、いい経験だったと思うから。
- ・学校のチームとしての強くなれると思うから。
- ・自分が中学生の頃部活動だけでも支障をきたさなかったため。
- ・指導者の絶対数不足、放課後時間帯の指導者確保困難、活動費の個人負担増、受益者負担による活動困難者増。
- ・指導者がいてこそ活動ができる。以前は指導者が頑張って支えてきたはず。
- ・お金がかかる。
- ・そうしてきたから。

〈平日は学校部活動、休日は地域クラブ活動〉

- ・平日は学校施設で活動する。休日は地域の施設で体育協会加盟のメンバーと活動し、交流する。指導者と交流することにより、技術的、精神的に向上出来ればと考えます。
- ・学校クラブと地域クラブがそれぞれの特性を活かして存在し、生徒が幅広く柔軟に選択して活動できればいいと考えるから。
- ・先生の負担が多く労働強化になる。
- ・出来れば経験豊かな地元の有識者、経験者にお願いすれば地元として盛り上がり長続きすると思う。
- ・学校の部活動は第1と考えその上に地域の展開を図るべき思う。
- ・教師の負担軽減を理由に子どもたちのやる気を損ねる。放置されて子どもに負担をかけている。
- ・不明
- ・休日の練習、試合は先生の負担が大きい。
- ・スポーツ少年団の指導者は専任ではないため、平日は必ず指導できるとは限らない
- ・クラブ活動をしっかりすることで心身ともに鍛えて欲しい
- ・学校の先生も休みが必要
- ・学校の先生方の負担を軽くできる
- ・学校と地域で分担したら良いと思うから
- ・教職員に残業がつかないならしかたない。今までとは違った形を模索していくしかない。
- ・基本的には学校にて平日も休日も部活動は学校主導でやってもらいたいが、先生の負担も考えると休日は地域で学校施設を開放して地域の方に活動をサポートしてもらうのも良いと思う。
- ・教師自身又、家族の事を考えた。
- ・特別に思わない。
- ・学校の先生の負担を軽くするため。
- ・すべて部活となると、休みたい子供も居るだろうし、塾や習い事などもあると思います。
- ・学校が終わってから地域クラブ活動となると指導員がいてるかわからないので。
- ・学校就業日は地域クラブへの移動が問題であると思うので。
- ・勉強とクラブの両立。
- ・中学校からクラブを始める子供がクラブチームへ加入すると結局経験者と差出てくなり続かなくなるため、中学校から始める子供は、中学校のクラブで一からした方がいいと思います。
- ・ある程度は学校の中での活動もあってよいと思います。ただ技術的な部分や大会に向けた活動は地域クラブでできることは多いと思います。
- ・学校の部活以外で休日に他の活動の機会があれば将来的にも視野が広がり新しい発見を見つける可能性があると思います。結果その地域の活性に繋がっていくと考えます。ただ、学校の部活動は体育系なら、～大会とか文化系ならコンクール、コンサート等目指す目標がありますが地域部活動で何を目標に活動するのが定まらなると生徒のモチベーションを保つのが難しいと思います。仮に目標が明確になった場合、指導する大人もいい加減な指導は出来ません。またどこで活動するのかという場所の確保も必要だと思えます。他に

も課題はあると思いますがそれを一つひとつ潰していくのが我々だと思います。今までの協議会での議論の内容もわからない外れな内容になっていると思いますが、少なくともヤマは可能な限り学校部活、地域部活動に参画していきたいと思います。

- ・少子化で先生不足もあり、取り敢えず休日から始めたらと思います。
- ・地域と学校との関係でなければ部活動の維持は難しい。
- ・義務教育の中学生が地域の人を巻き込み、体を鍛える活動に取り組むのはすばらしい事だと思います。
- ・平日も地域対応となると、指導者確保は難しいのと、休日の地域クラブ活動であれば活動内容にもよるが協力出来ることもあると思います。
- ・平日は楽しい学校生活を、また休日はそれぞれの自分の能力をのばせればと思います。
- ・学校の関係者への負担軽減。学生の活動場所の確保。
- ・分離する方が良い。
- ・学校の荷が重すぎると思うから。
- ・地域との関係を深められるから。
- ・休日のみなら平日勤務している方も外部人材の支援に参加できると思うため。
- ・平日も休日も学校部活動とすると教員の休日がなくなるので地域クラブ活動として取り組みの方がいいと思うが、部活動を持ちたいと思う教員もいると思うので完全に地域クラブ活動には出来ないのではないかと考えたから。
- ・教職員の指導方針による
- ・土日に部活動の指導をすることで、教員一人一人に負担になってしまう。しかし、生徒とのコミュニケーションや良好な関係、生徒の特性を知ることは、授業以外での部活動としての生徒を知るきっかけになると考えます。平日は教員が指導しても良いと思う。
- ・土日に部活動の指導をすることで、教員の方が休むことができなくなるため。しかし、授業以外の生徒を知ることができるため部活動の指導も必要と考える。
- ・部活動中でしか見れない生徒の姿を知れる機会を設けたいが、専門的な指導も必要と考えるから。
- ・先生方と生徒の関係性も大事だと考えます。
- ・その方が合理的だから。
- ・休日にもっと練習試合など行うべきだと考えたため。
- ・文学もスポーツも両方に力を注ぐ。
- ・教員と児童・生徒のつながりのため。
- ・中学生は学業が中心。
- ・学校職員の方の負担が大きいから。
- ・あくまで中学校の部活動だから。

〈平日も休日ともに地域クラブ活動〉

- ・平日、休日で指導者が変わると指導に一貫性がなくなる。平日から教員も地域クラブに指導者として加わる、もしくは近隣地域の教員が協力して地域クラブを作りその地域の生徒を受け入れる。
- ・教職員の働き方改革の改善と、専門的な指導の在り方。

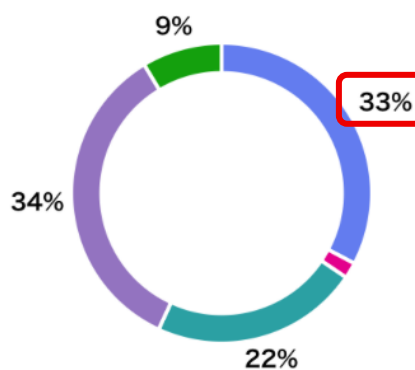
- ・学校の教職員の負担軽減と、外部コーチによる技術向上の為。
- ・学校の先生の業務が多岐に渡り、クラブ活動に手が回らない現状をニュースなどで聞き、地域への委託、協力も考えなければいけないのではと思ったので。でも学校との連携は、していった方がいいと思います。
- ・部活に対する教員の負担が大き過ぎるため、本来の教える仕事へのしわ寄せがあるから。
- ・教員の仕事とスポーツ指導を分ける方が良いと思っているからです。
- ・教師が忙し過ぎるから
- ・教員の仕事量が増えて、教員志願者が減少している現状があると聞きます。少しでも子供達にゆっくりとかかわる時間が増えればと思います。そのためにも、クラブ指導者を地域連携で協力できることは良いと思いますが、地域指導者に任せきりではなく学校と指導者との連携を密にしていくところが大切ではないかと思います。
- ・学校現場での顧問となる教職員の負担軽減のため。
- ・学校の教員で専門的な技術指導のできる先生ばかりではない。それが負担に感じる人もいると思う。平日でも休日でも時間さえ考えれば地域のスポーツ少年団でも練習ができると思う。

〈その他〉

- ・最近の中学校の部活自体どうなってるかがわからないので回答しづらい。ただ生徒個々の興味を持った部分を伸ばせるような無理のない範囲で幅広く取り組む必要があると思う。たいへん困難だけれども。
- ・「べき」という考え方は良くない。ケースバイケースでフレキシブルに対応すれば良い。
- ・2つどちらも所属するよりは、1つに専念して取り組む方がより効率的なテクニック向上、そして地域全体の部活動レベルも上がると思うから。
- ・少子化で生徒数も減り、教員も減り、部活動の数（種類）も減ってきています。そのため、専門外（得意ではない）の部活動を担当する教員は増え、心身共に負担増になっている傾向にあります。だから、学校と外部指導員が同じ立場で子供達を指導できるような仕組み（活動方法、勤務形態や報酬など考えて）を作っただければと思います。ボランティアで！などと言っているから手を挙げる人がいないのかなと思います。それ相応の報酬があれば、協力してくれる人はいそうですけど…。
- ・運動部、文化部などそれぞれの事情が違うから。指導者がどう指導しているのかを把握する必要もあると思いますので、指導者任せでは問題が起こりかねないという危惧もあります。
- ・教員の働き方改革は理解するが、学校管理下から地域展開に移行した場合、費用負担が増える。地域の受け入れ状況により選択できる種目が減ると思う。
- ・”強化としては地域クラブのみでよい。しかし日本の部活動制度は教育ツールとしての成功事例と思慮。教員と子供の関わり希薄化を危惧。
- ・部活顧問等の負担の軽減になるし、また地域連携にもなる。
- ・中学校部活動はあるとよいとは思いますが、先生方が忙しすぎると思います。
- ・先生方の多忙化はわかりますが、中学生と関わる事が無いので、わかりません。

5. 休日地域クラブ活動として専門指導

● 可能（現地）	38
● 可能（オンライン）	2
● 不可能	26
● わからない	40
● その他	10



6. 専門指導できる種目

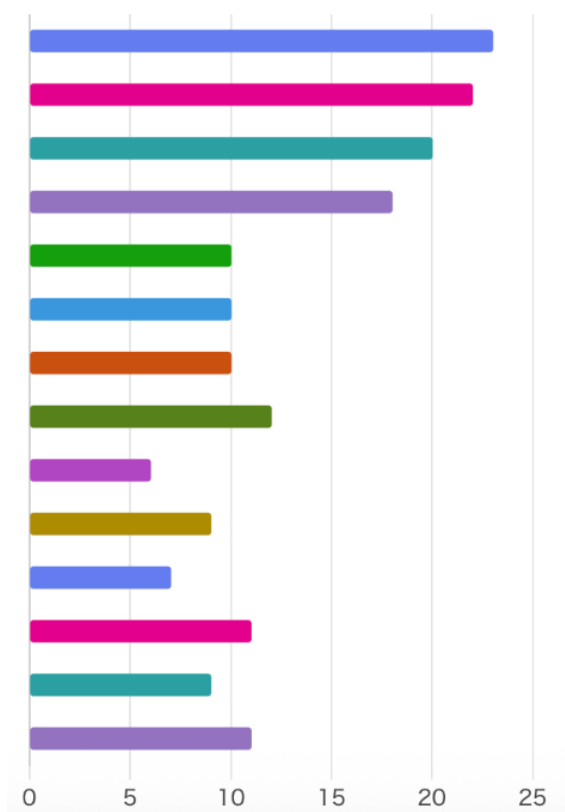
● 陸上競技	0	● 吹奏楽	3
● 軟式野球	8	● 美術	1
● ソフトボール	1	● 技術	1
● バレーボール	5	● 数学	1
● バスケットボール	1	● 家庭（生け花家庭）	0
● ソフトテニス	2	● 英語	3
● 卓球	1	● 科学（園芸科学）	1
● バドミントン	0	● 茶道	2
● 柔道	1	● 音楽	2
● 剣道	3	● 社会	1
● 空手道	0	● 放送	1
● 少林寺拳法	1	● 書道	1
● サッカー	1	● その他	12
● ハンドボール	1		

〈その他〉

- ・ 和太鼓
- ・ 小倉百人一首かるた
- ・ 武術太極拳
- ・ 硬式テニス
- ・ グラウンドゴルフ、パークゴルフ
- ・ 地域文化財の説明
- ・ お琴
- ・ 俳句
- ・ 大正琴
- ・ 将棋

7. 指導可能時間帯

● 土曜日 (AM)	23
● 土曜日 (PM)	22
● 日曜日 (AM)	20
● 日曜日 (PM)	18
● 月曜日 (夜)	10
● 火曜日 (夜)	10
● 水曜日 (夜)	10
● 木曜日 (夜)	12
● 金曜日 (夜)	6
● 月曜日 (放課後)	9
● 火曜日 (放課後)	7
● 水曜日 (放課後)	11
● 木曜日 (放課後)	9
● 金曜日 (放課後)	11



8. 指導時謝金希望額

● 無償でもよい	16
● 500円程度/時間	3
● 1,000円程度/時間	7
● 1,500円程度/時間	3
● 2,000円程度/時間	6
● その他	5

〈その他〉

- ・月2回 交通費込みで15000円 (人数による)
- ・教室によって謝礼は一律ではなく、お任せ。
- ・お金が必要な場合徴収。
- ・スポーツ少年団に登録する。
- ・派遣講師による。

9. 専門指導できない理由

● 指導員不足や高齢化。	13
● 学校部活動と地域クラブの棲み分けが難しい。	2
● 中体連や協会・連盟への登録手続きの煩雑さ	0
● 活動時間が合わない。	7
● その他	4

〈その他〉

- ・教えるような技量を持っていない。
- ・各自に専用の楽器がいるから。
- ・能力なし。
- ・当クラブの種目はスキーであるため。

